



林

間

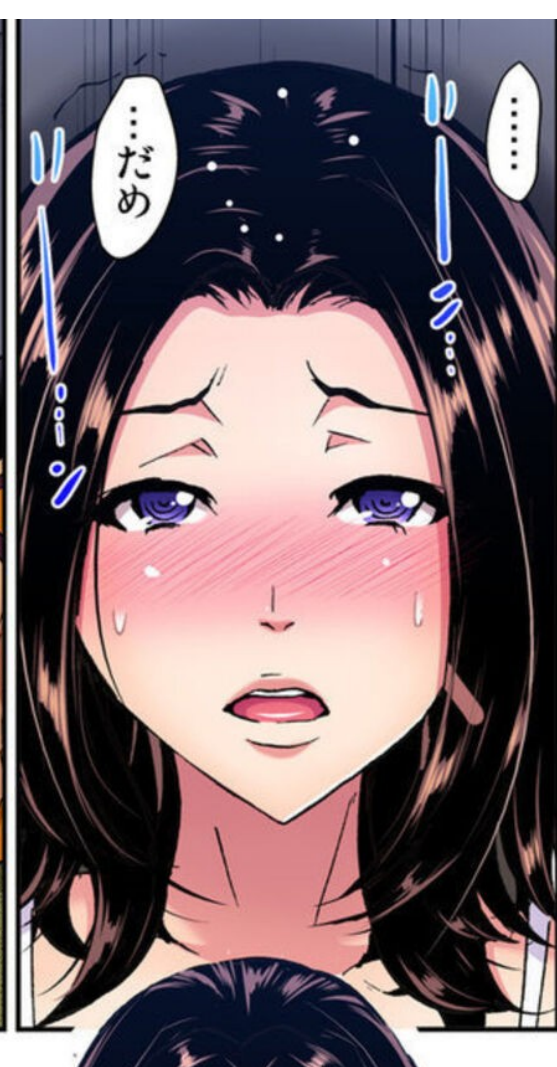
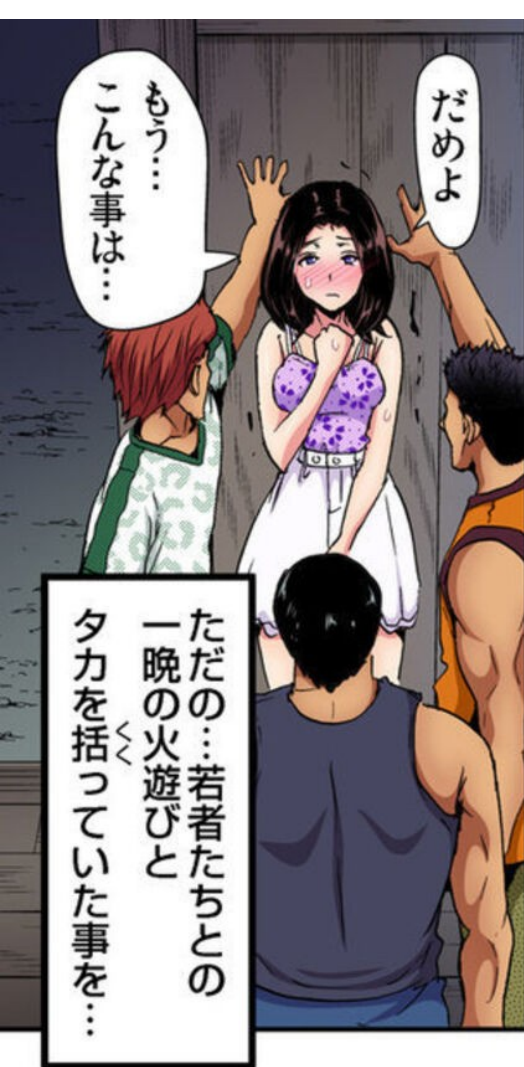
郷

りんかんきよう

1

寝取り
無法地帯

葵抄



もう…
こんな事は…

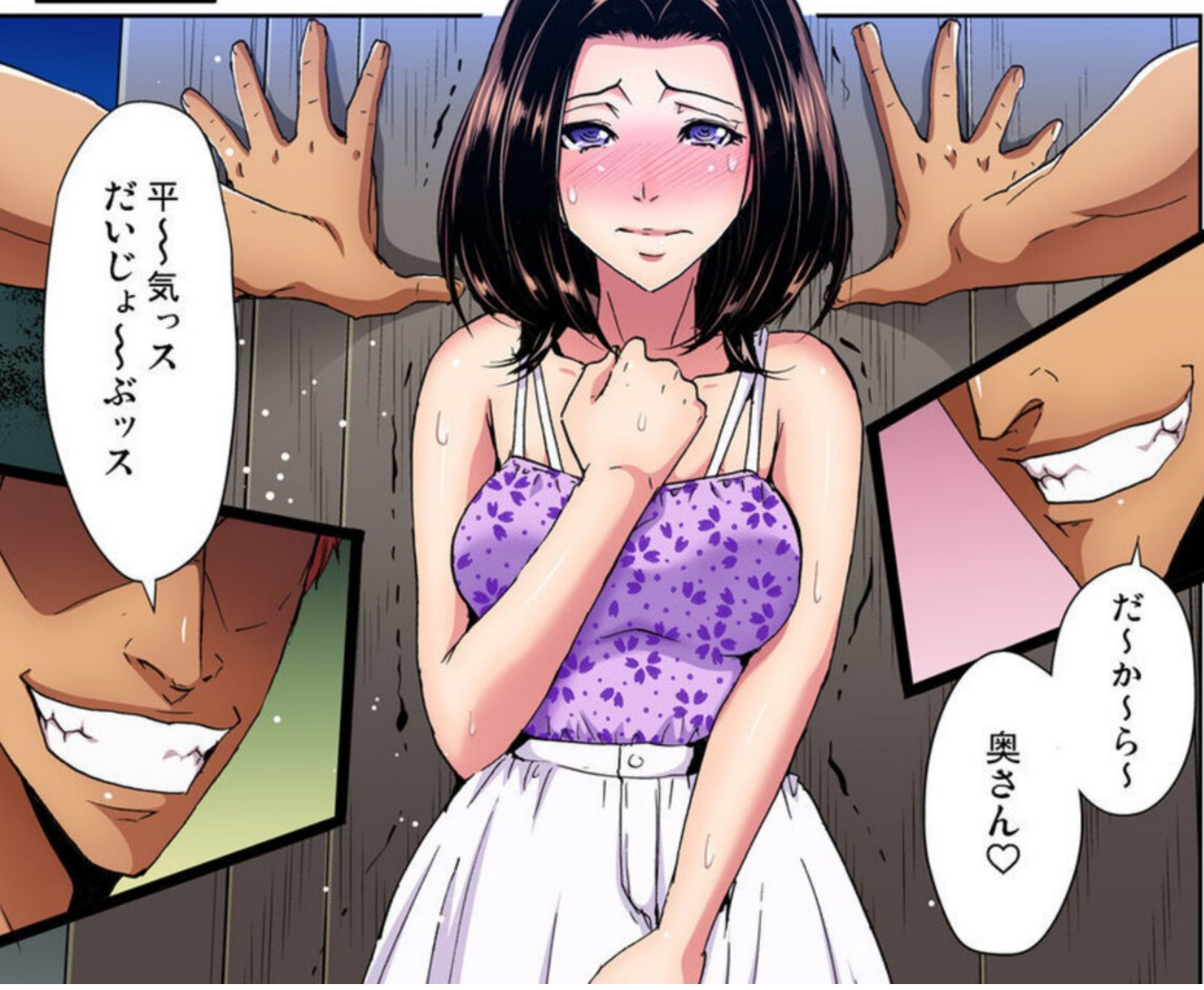
だめよ

…だめ

…

夫に
懺悔したい

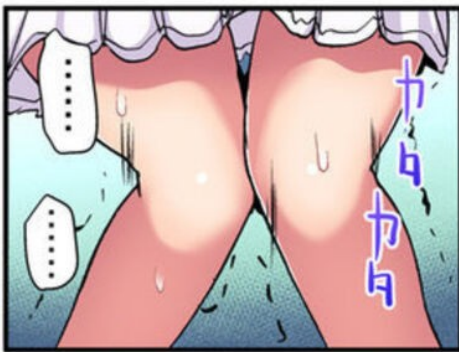
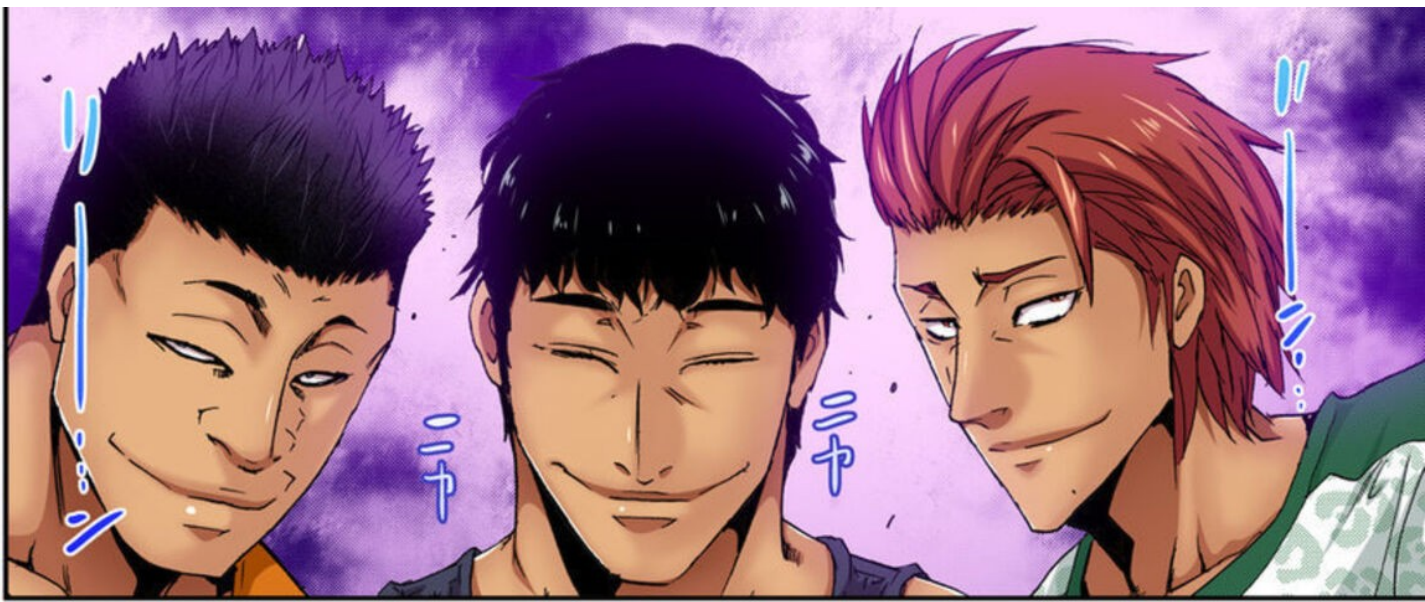
ただの…若者たちとの
一晚の火遊びと
タカを括くくっていた事を…



平々気っス
だいじょぶぶッス

だくかららら

奥さん♡





もう...

ウイ~~~~ッス

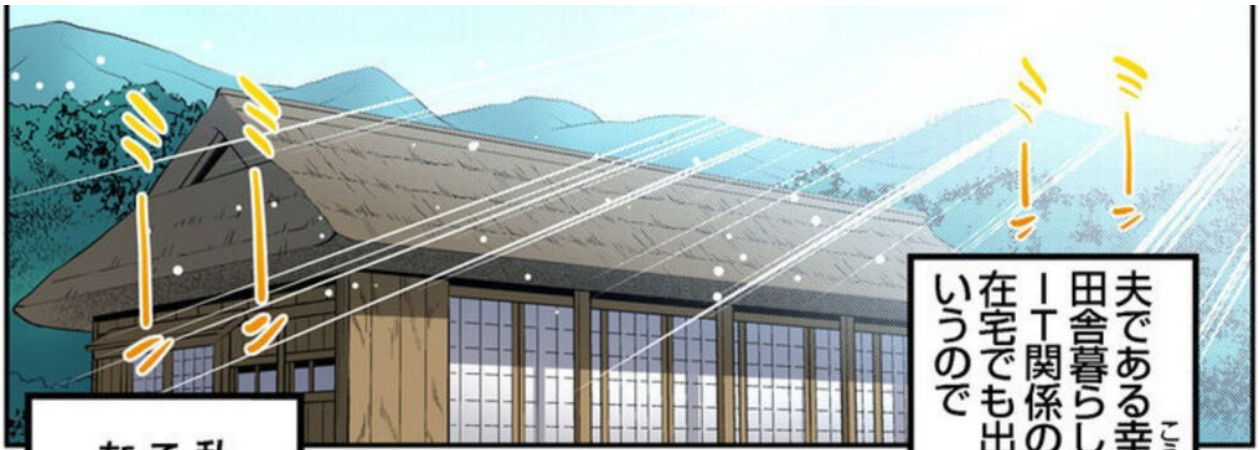
本当に...
これで最後に...

安心してくれッス



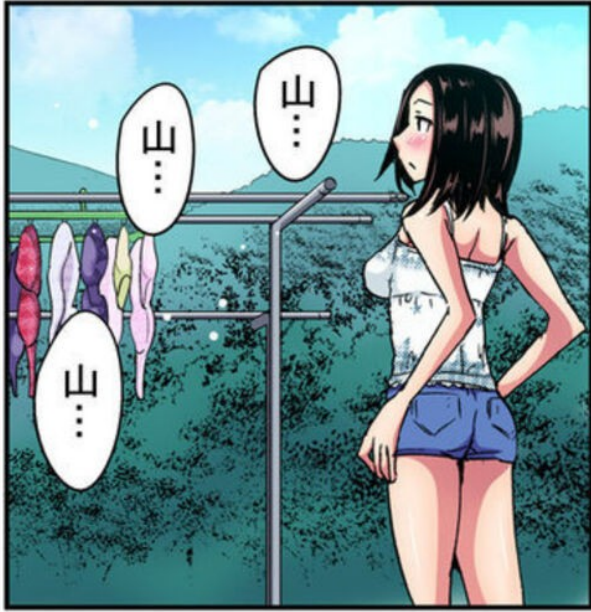
なんで私は
あの時...

あんな事をして
しまったのか



夫である幸太郎にとって
田舎暮らしは憧れだった
IT関係の仕事は
在宅でも出来る
というので

私たち夫婦は
この村に移住する事
になった



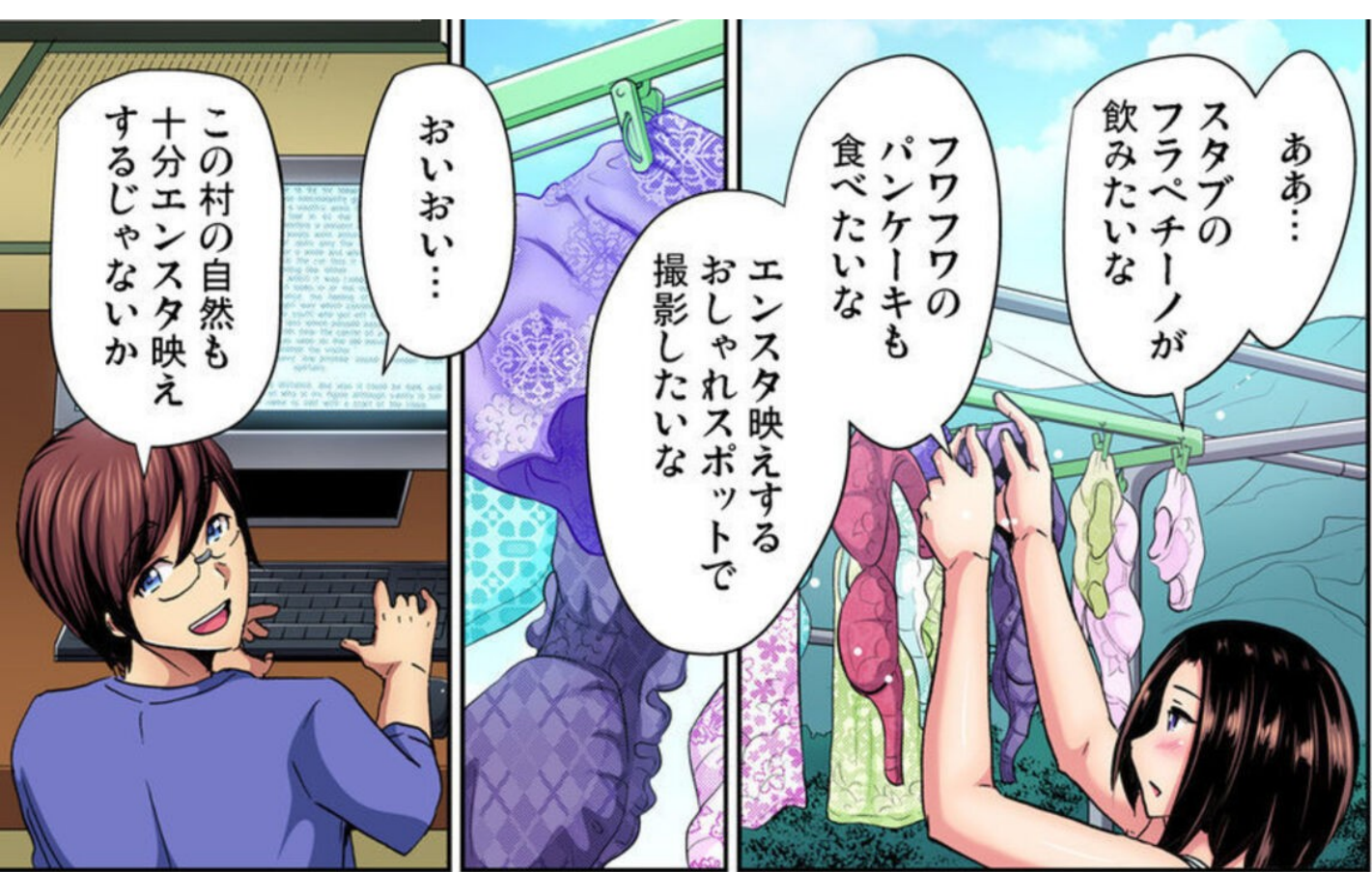
山…
山…
山…



フウ
あち…



一番近い
コンビニですら
25キロ…
何が楽しくて
こんな所に
住まなくちゃ
いけないのよ



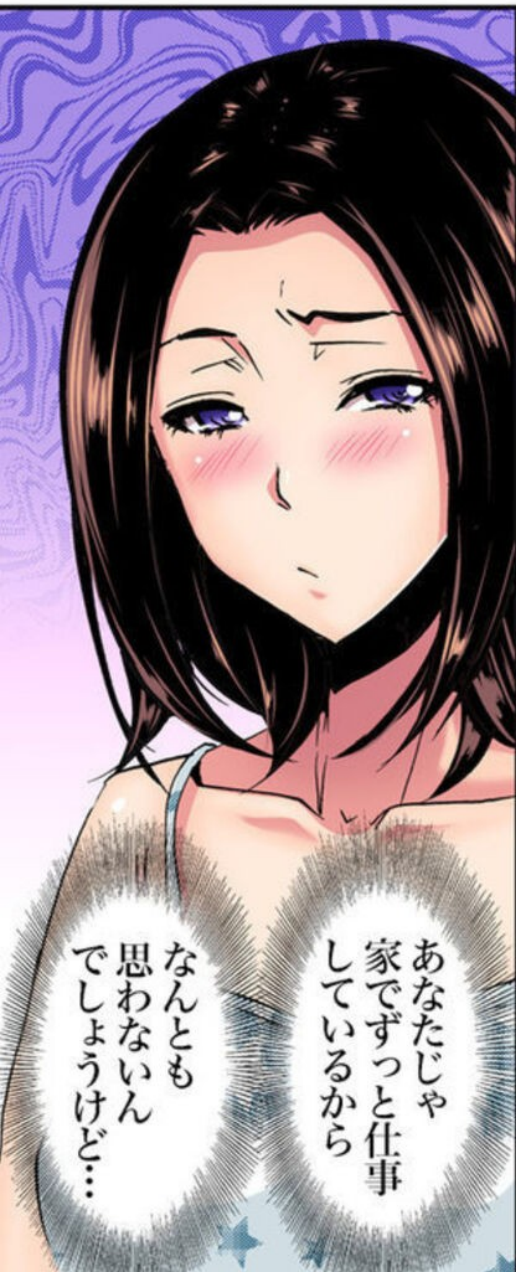
ああ：
スタブの
フラペチーノが
飲みたいな

フワフワの
パンケーキも
食べたいな

エンスタ映えする
おしゃれスポットで
撮影したいな

おいおい…

この村の自然も
十分エンスタ映え
するじゃないか



あなたじゃ
家でずっと仕事
しているから
なんとも
思わないん
でしょうけど…



それに…

「このお家ステキ〜
ここでならエンスタ映えする
古民家カフェやれそ〜」

って言ったの
優ちゃんじゃないか

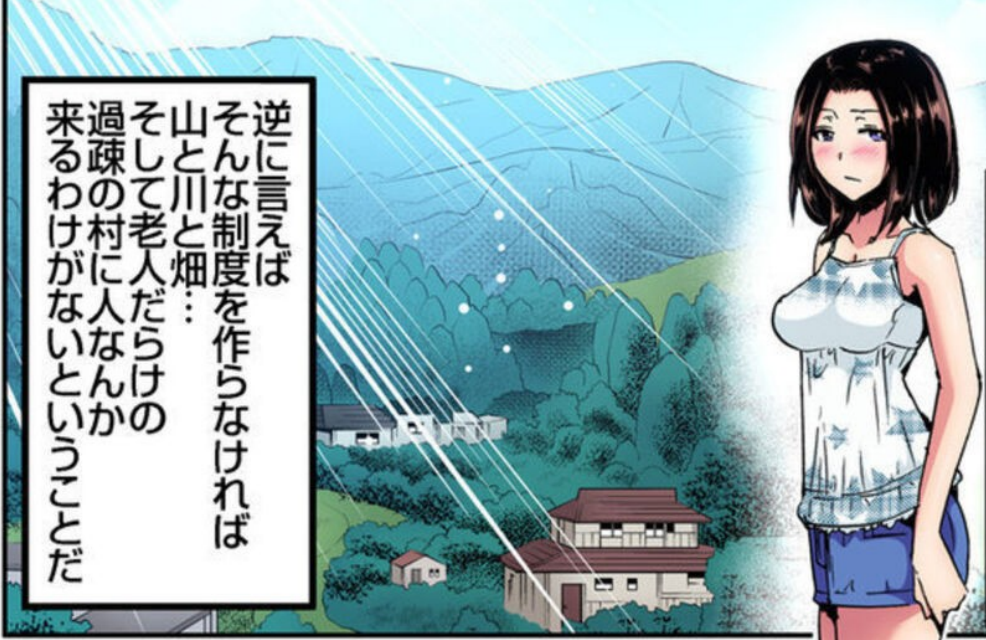
ま…まあ…
そうだけどもさ

りんかんきょう

「林間郷」という名のこの村は
過疎化という大きな問題を
抱えているそこで始まった
移住者支援制度――

格安な家賃で
家を貸し出し
3年住み続けられ
譲渡する制度だ

逆に言えば
そんな制度を作らなければ
山と川と畑……
そして老人だらけの
過疎の村に人なんか
来るわけがないということだ



東京育ちの
私にとって
この自然に満ちた
光景は

刺激が無さ過ぎて
息がつまりそうで
……
退屈そのものだった



奥さくん
大根ツスよ
ウチのばあちゃんが
持ってけてよお

あ……いつも
ありがとうございます
ございます



あ
アチ

ドカ



お茶もらっていい？
奥さん？

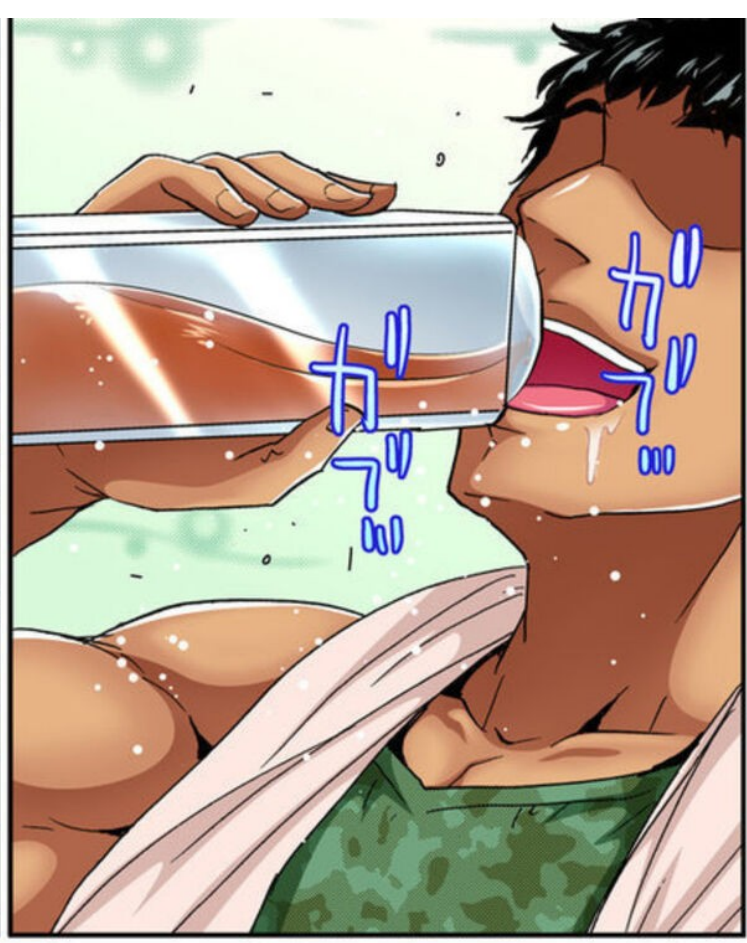
あ……はい



それは
ピクルスよ

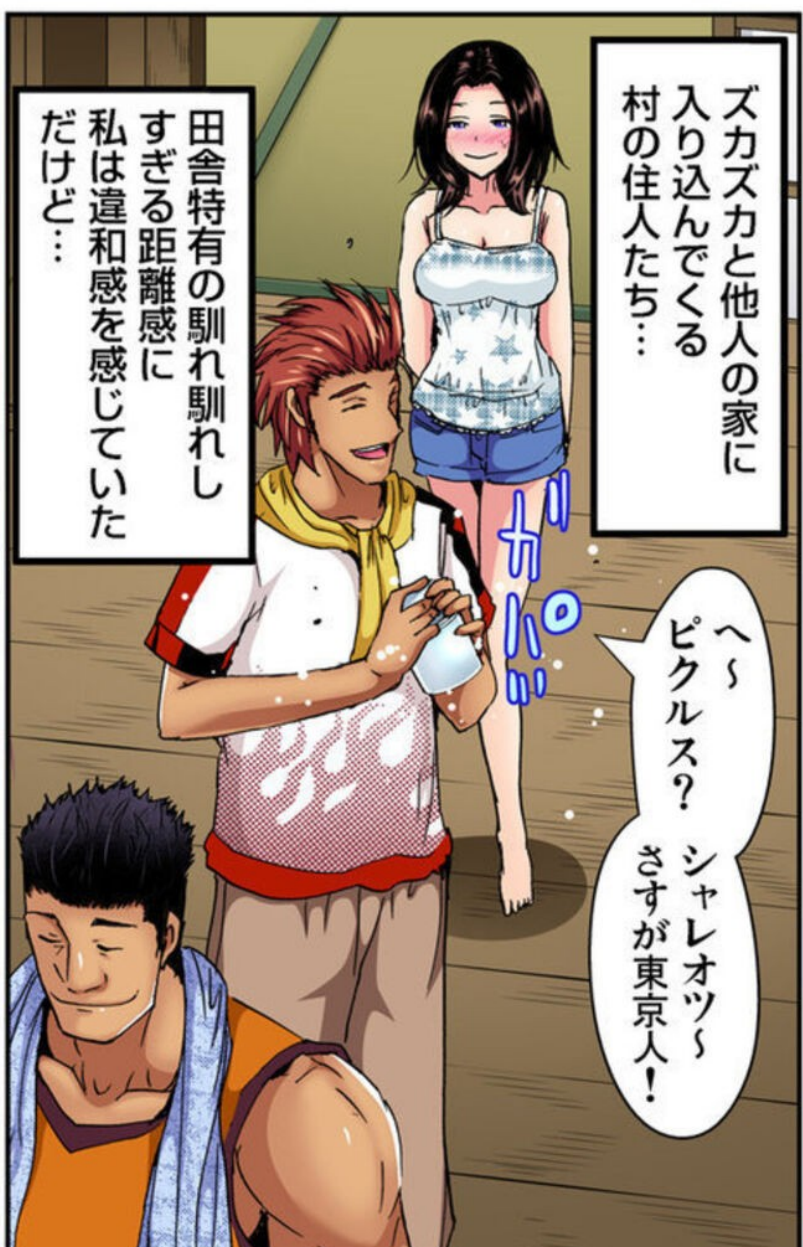
奥さん
これ何？

……
また勝手に



都会の男性には
見られないもので

この村の若者たちが
持つおらかなさや
たくま
逞しさは



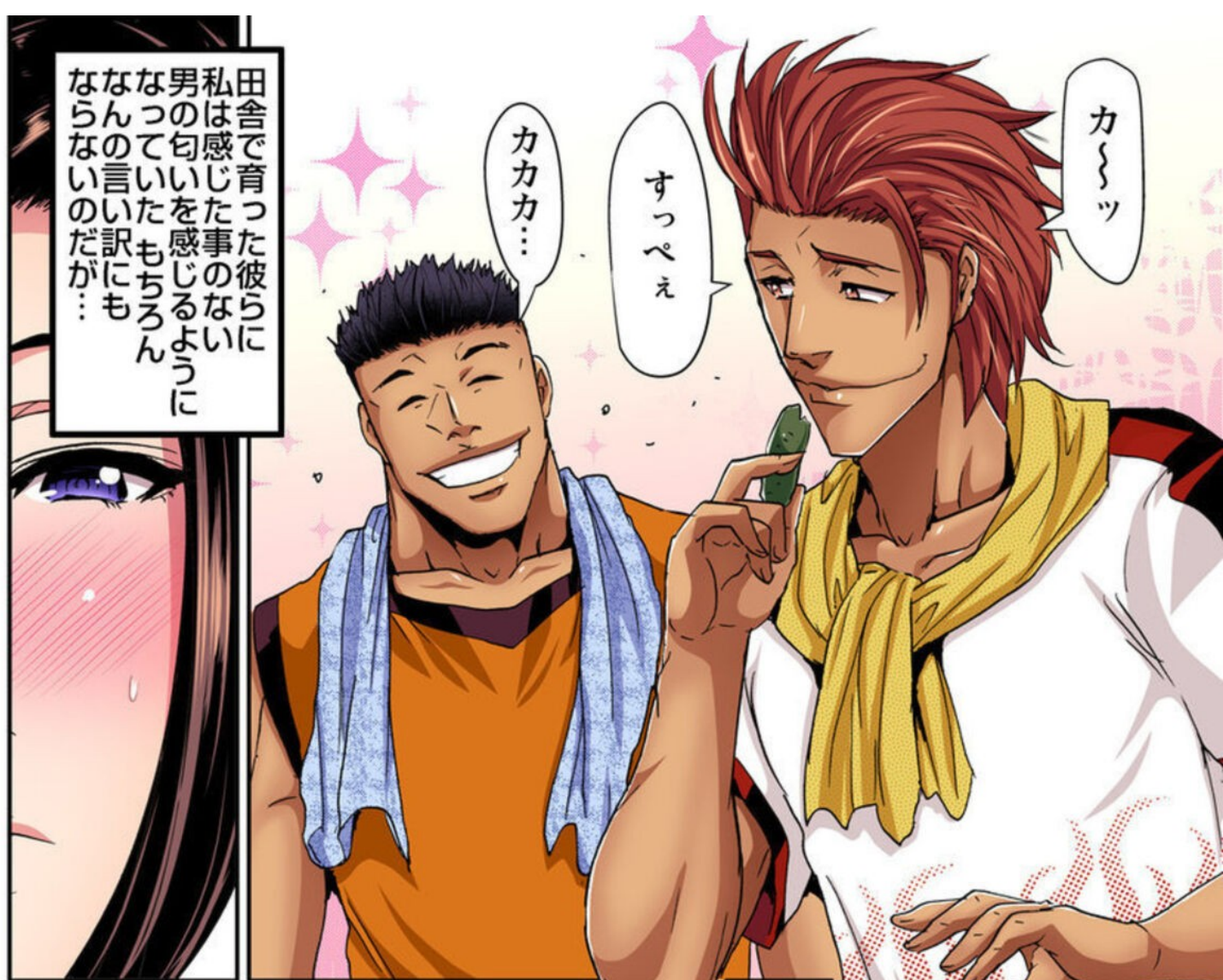
ズカズカと他人の家に
入り込んでくる
村の住人たち…

田舎特有の馴れ馴れし
すぎる距離感に
私は違和感を感じて
いただけ…

へっ
ピクルス？ シヤレオツッ
さすが東京人！



私にとって
それは新鮮だった



カ〜ツ

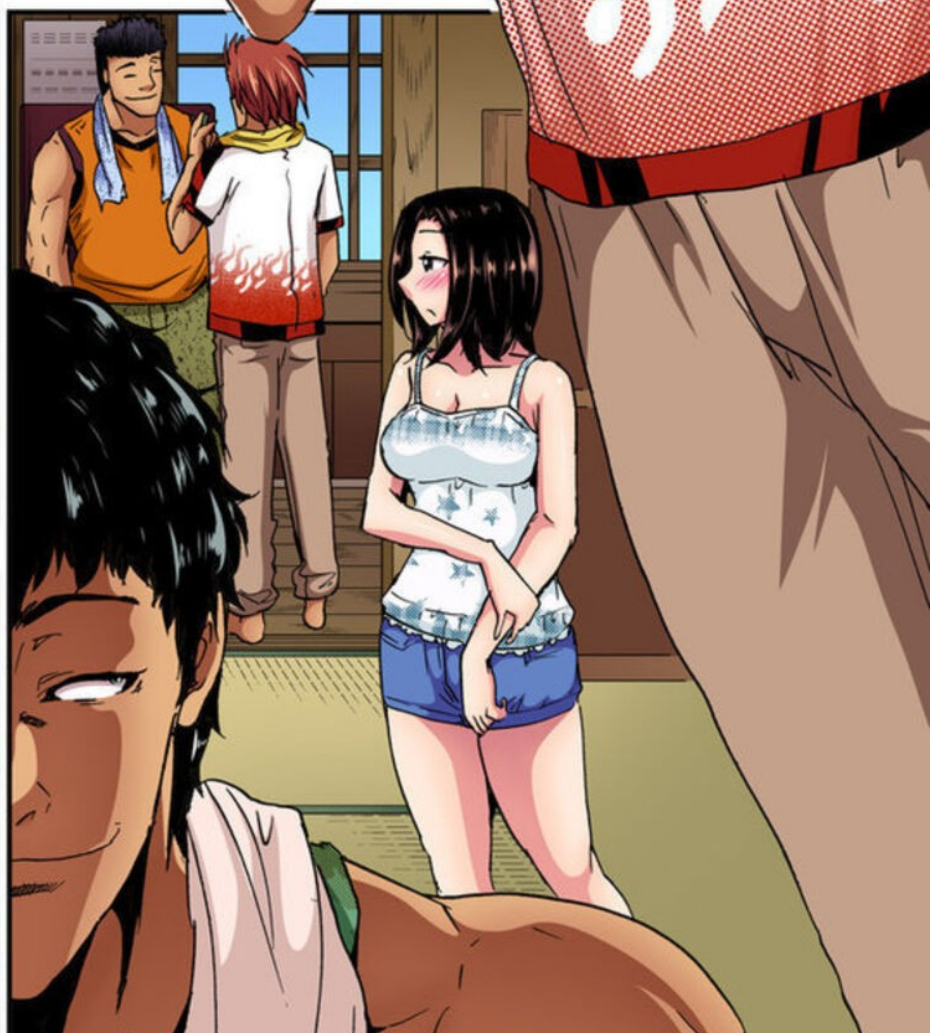
すっぺえ

カカカ…

田舎で育った彼らに
私は感じた事のない
男の匂いを感じるように
なっていたかも知らん
なんの言い訳にも
ならないのだが…

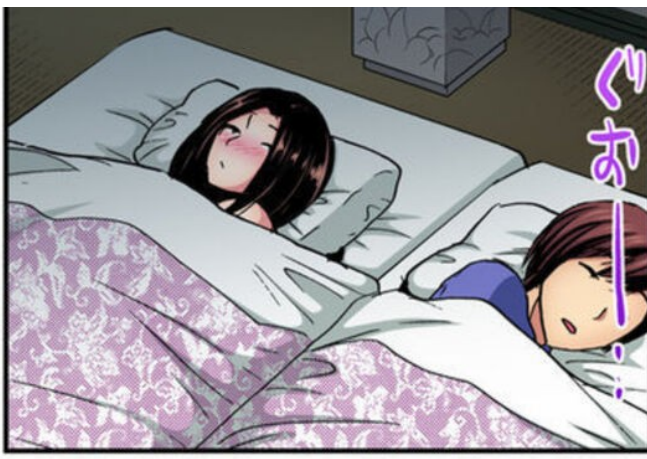


そう言えば
みちがみ
道上さんトコって
子供の予定とか
ないんですか？



子ども…





ぐわー！



子供かあ

欲しいけどなあ



ちよつと
晩酌した程度で

朝まで
ぐっすり
起きないし



もよ...
もよ...

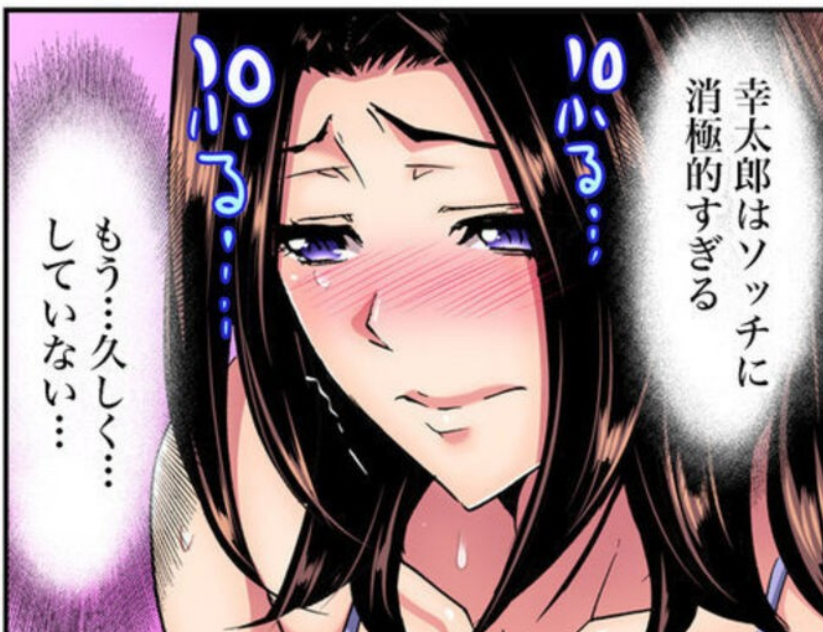
そういう事は
男の人のほうから
言ってほしいのに...



だからって...

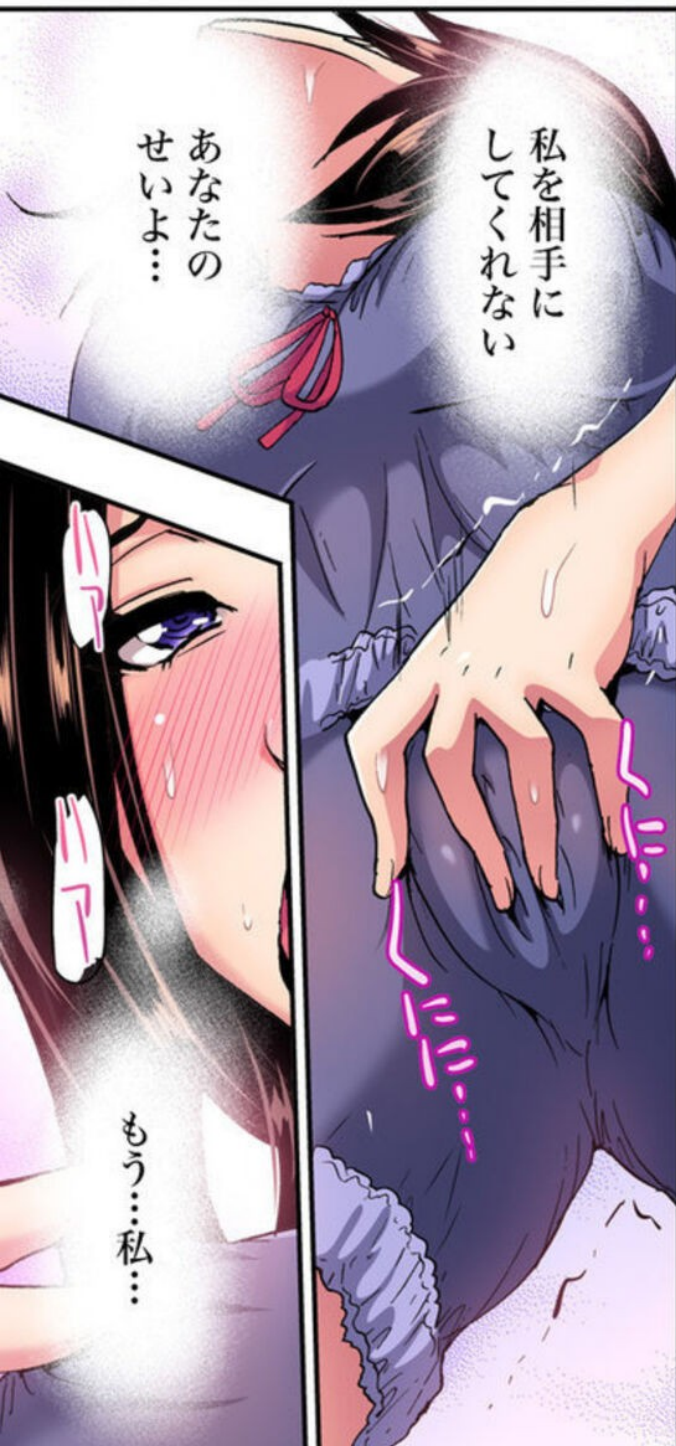
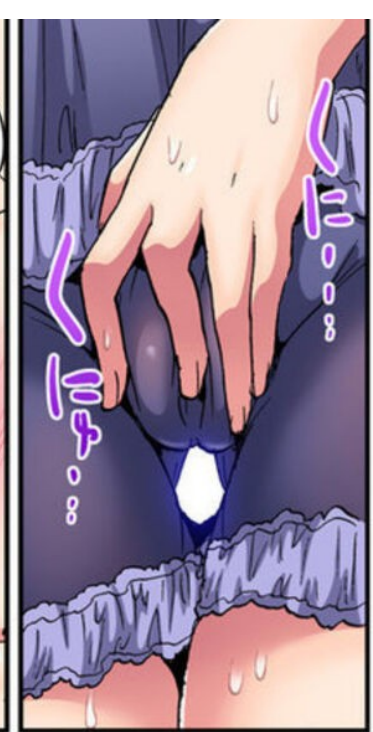
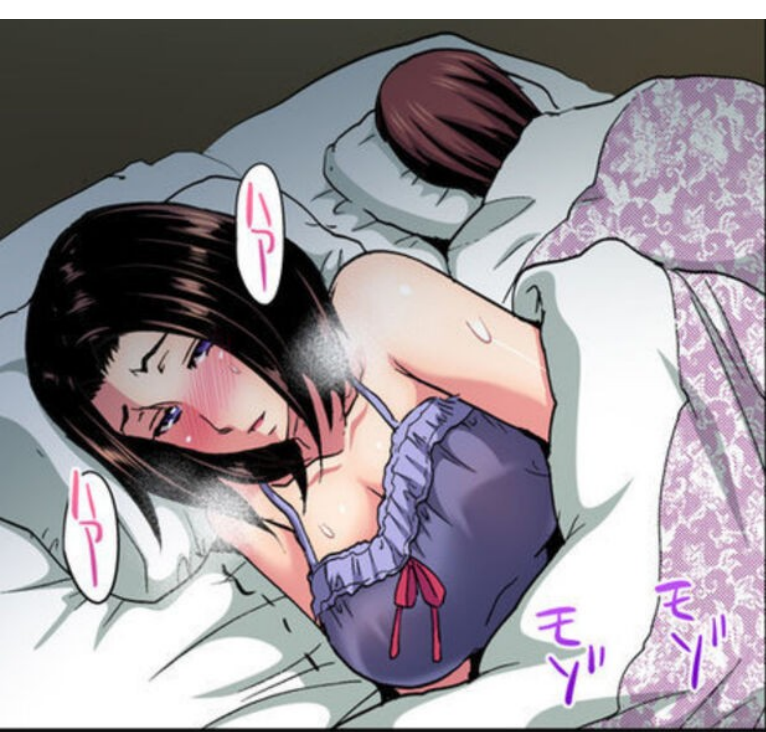
私のほうから
「したい」なんて...

恥ずかしくて
言えないじゃない



幸太郎はソツチに
消極的すぎる

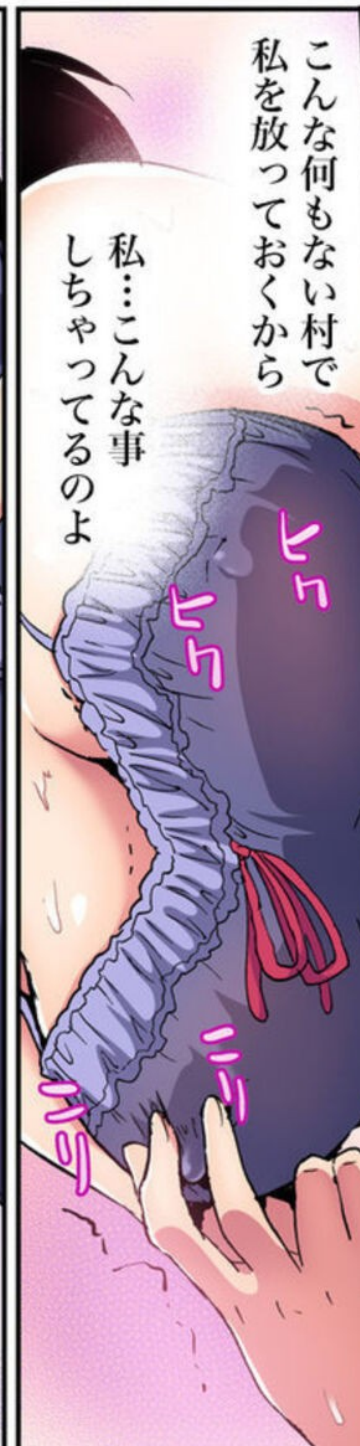
もう...久しく...
していない...



あなたの
せいよ...

私を相手に
してくれない

もう...私...



こんな何も無い村で
私を放っておくから

私...こんな事
しちゃってるのよ



くっ...
くっ...



んんっ

ああ...

刺激のまるでない

ブル...

あっ

ブルブル...

この村に住み続けるのは

はあっ

あっ

もう... 私...

ああああっ

ブルブル...

んんっ

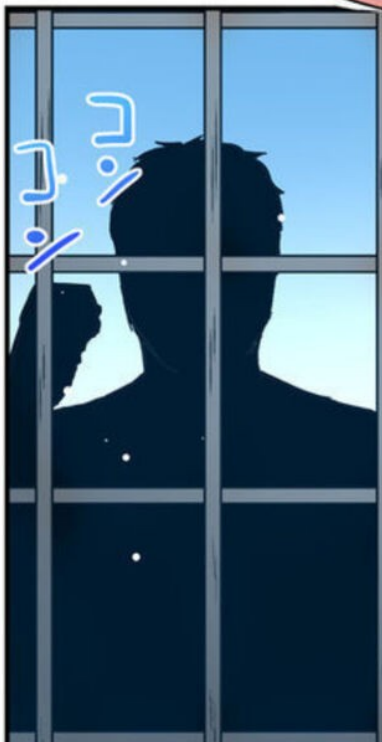
んんっ

ガタッ



?

誰!?

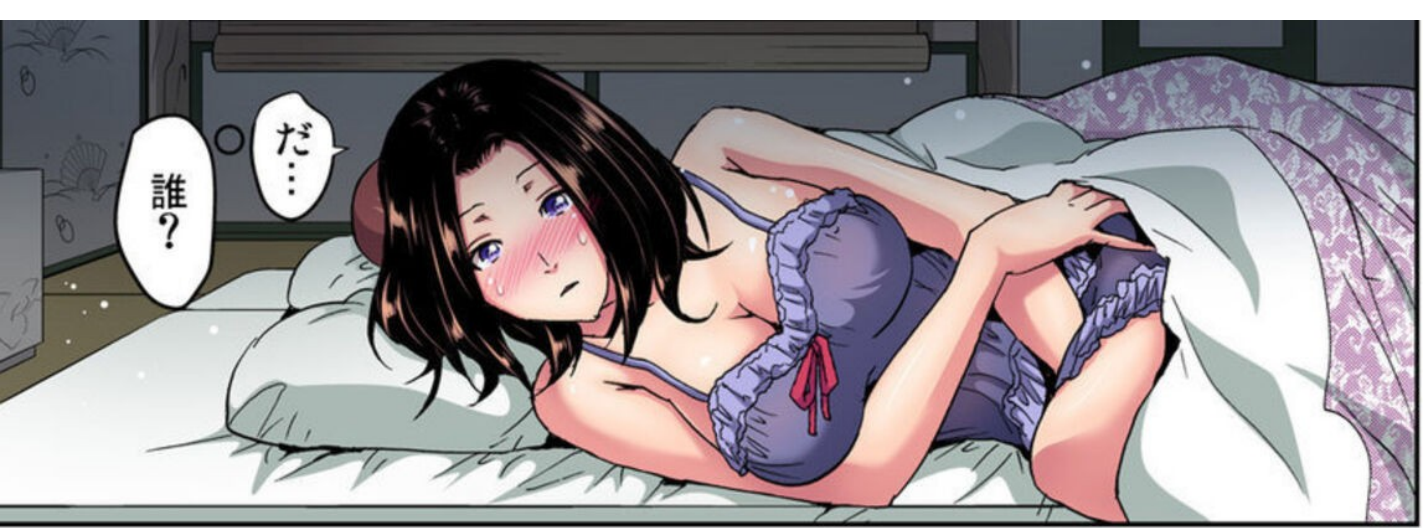


コンコン



え?

...



誰?

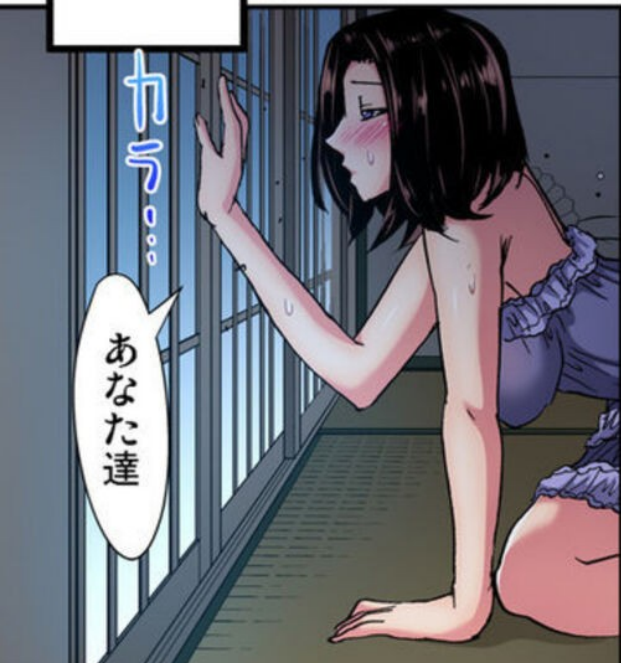
だ…



いくら
おおらかと言っても

キリッ

こんな真夜中に
来るなんて
非常識すぎるわ



カラ…

あなた達



……!

昼間の…彼ら!?



こんばんわ
俺らッス



な♡

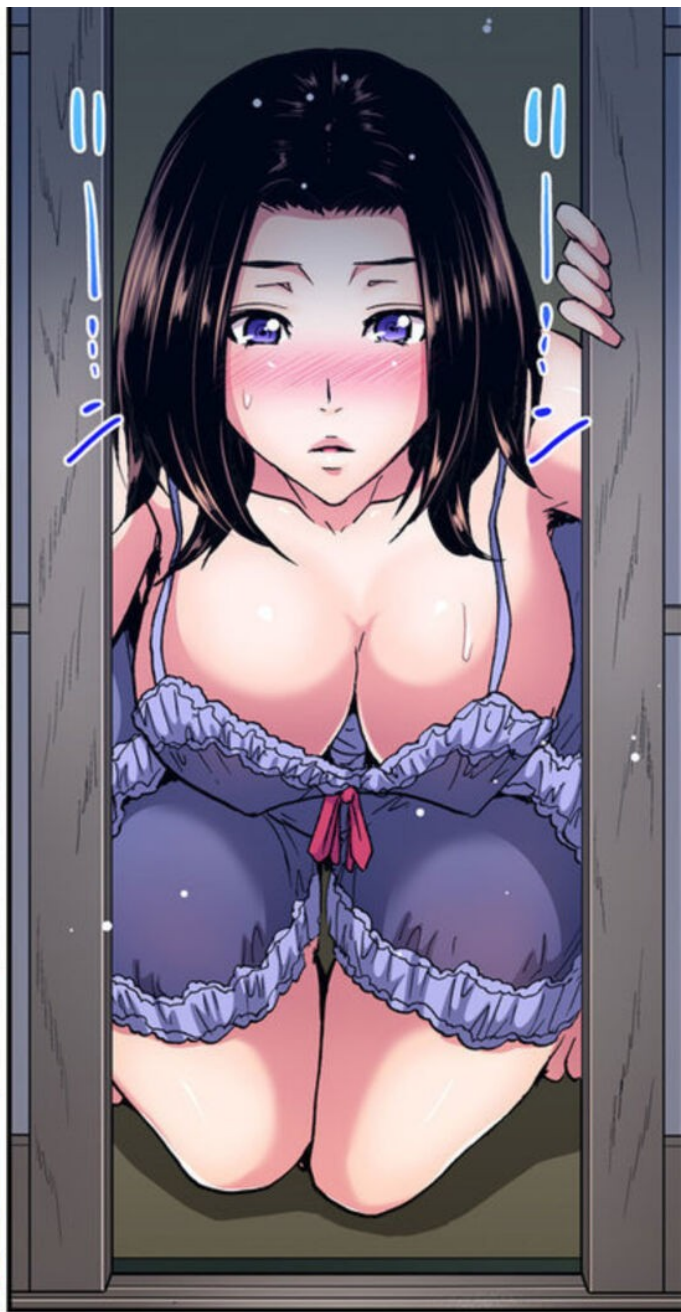
ころんな
真夜中に…

ククク…



奥さん
田舎だからってうっかり
しちゃダメッス
外に丸聞こえだよ

奥さんの声♡



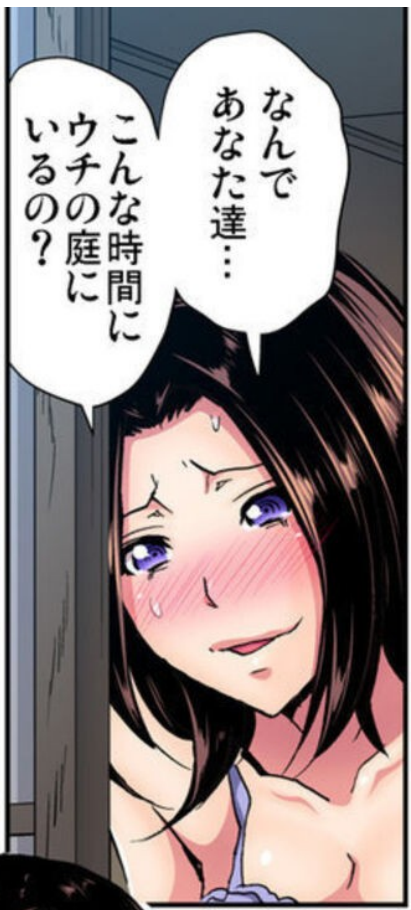
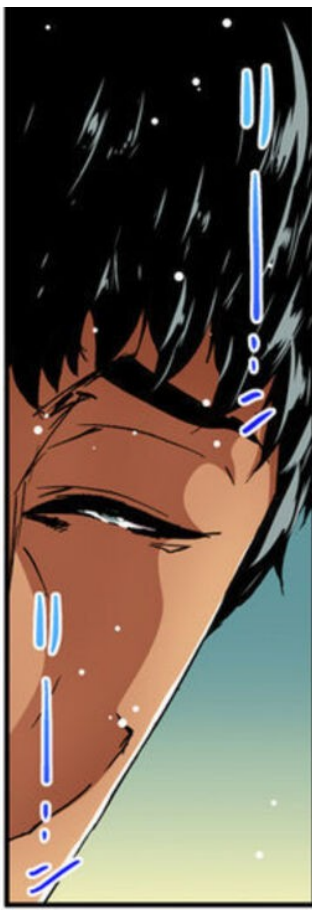
き…
聞かれてた
…!!

ぐおー！
ぐおー！



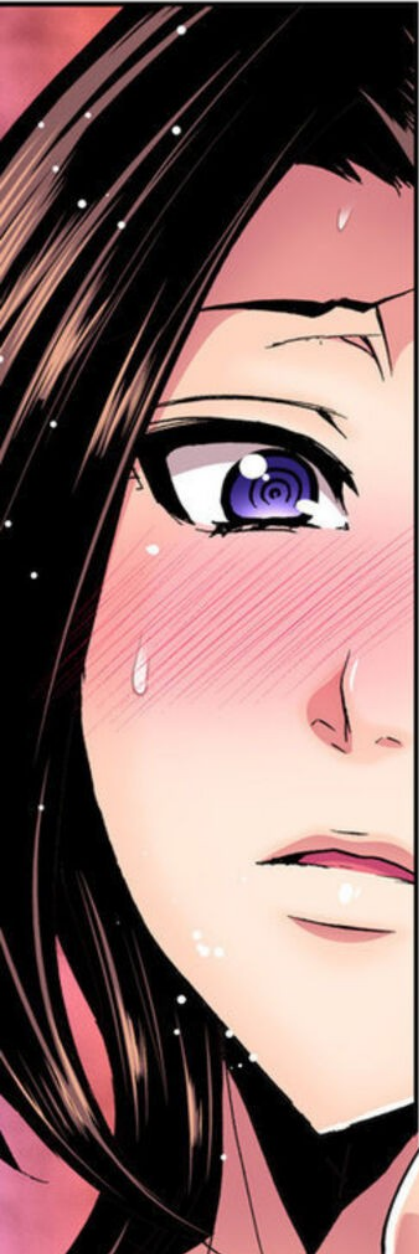
ど…
どうして…

あの声を…
この青年たちに…



奥さんに…
お願いがああって…

なんで
あなた達…
こんな時間に
ウチの庭に
いるの？



アソコ…
見せてもらえないツスか？

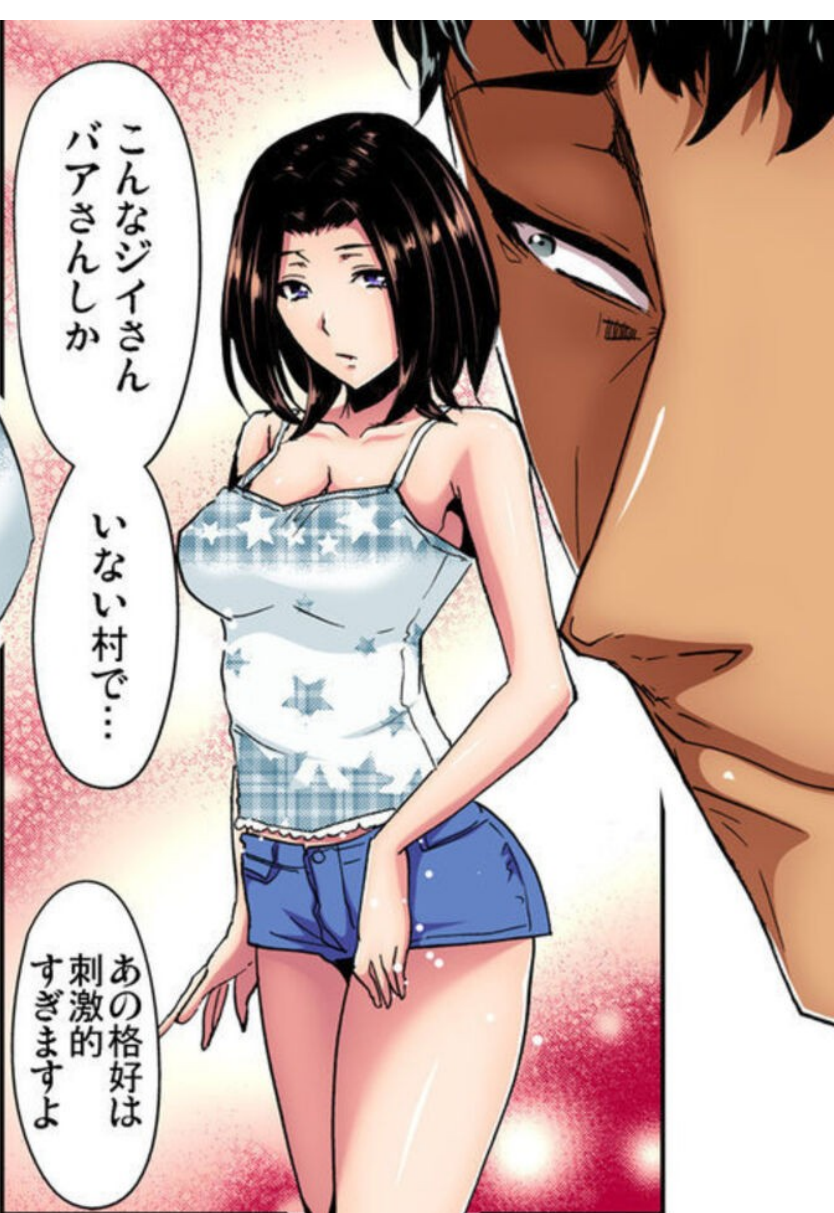
一回でいいツスから





焼きついちゃいますから♡

嫌でも目ん玉に…



こんなジイさんバアさんしか

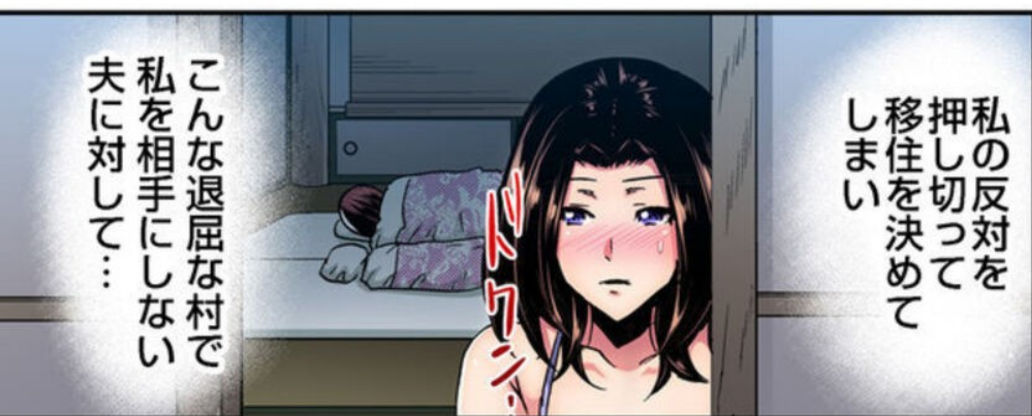
いない村で…

あの格好は刺激的すぎますよ



だから…ちよっとだけ…

見せてもらえるだけでいいッス



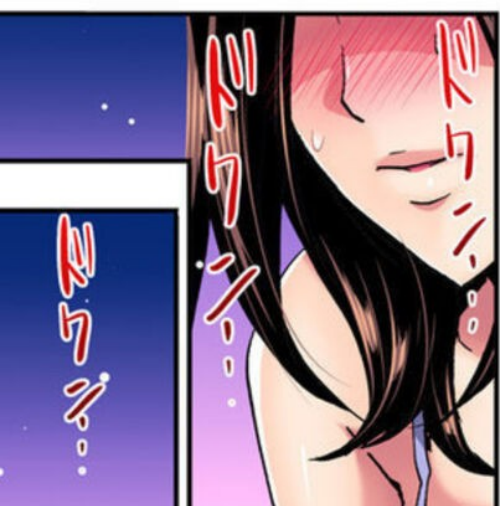
こんな退屈な村で私を相手にしない夫に対して…

私の反対を押し切って移住を決めてしまい



この時の私は…

どうかしていたんだ

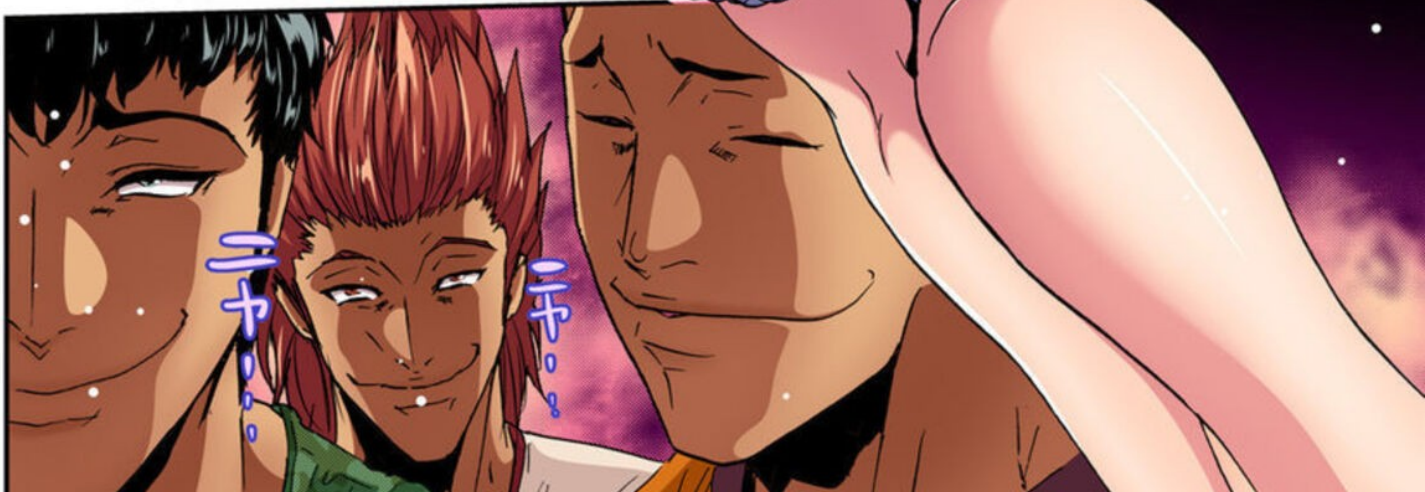


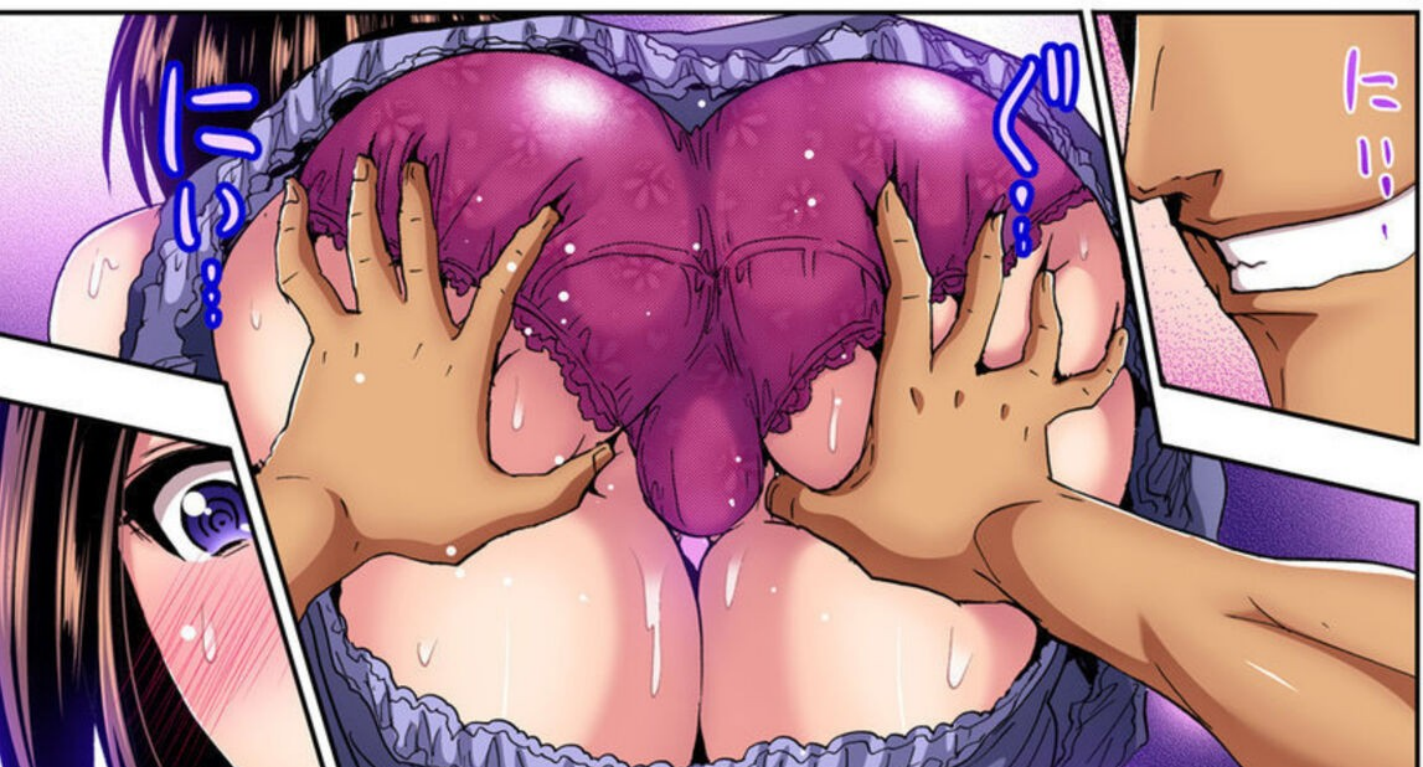
クワァン…

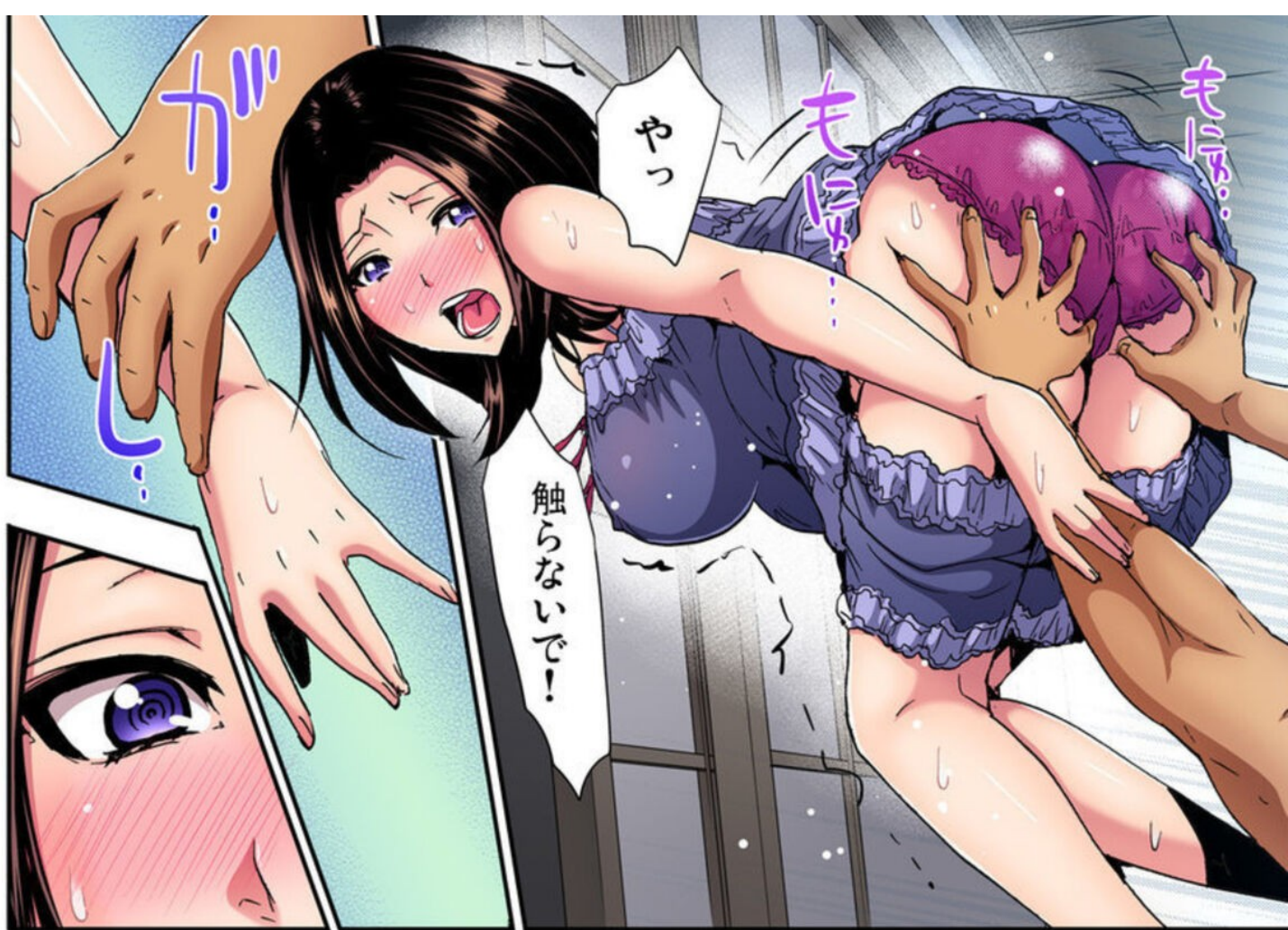


ほんの少し罰を与えたかった

ほんの少し…









ちよっとだけで
いいツスから…

ココ…

挿れて
いいツスか？

ダメッ！

そんなの…

約束と…

ちが…う…



今…
あなた達に
触られたら…

や…
あ…

わ…私…

だ…め

私…ああ…

ダメ…

ちよ…

ま…



だめ…

いや



挿れるわ

俺らも…



んじゃ…

マジで？



いや…

ああ…

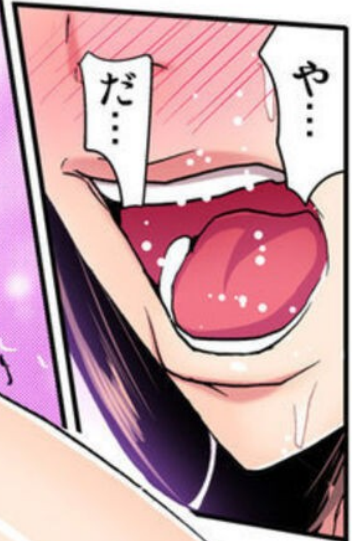
あ…

だめ…

もう…
これ以上は…
私…



あ…



だ…

や…



お願い...
もう...
やめてっ

これ以上
したら...

くっ...
にゅ...

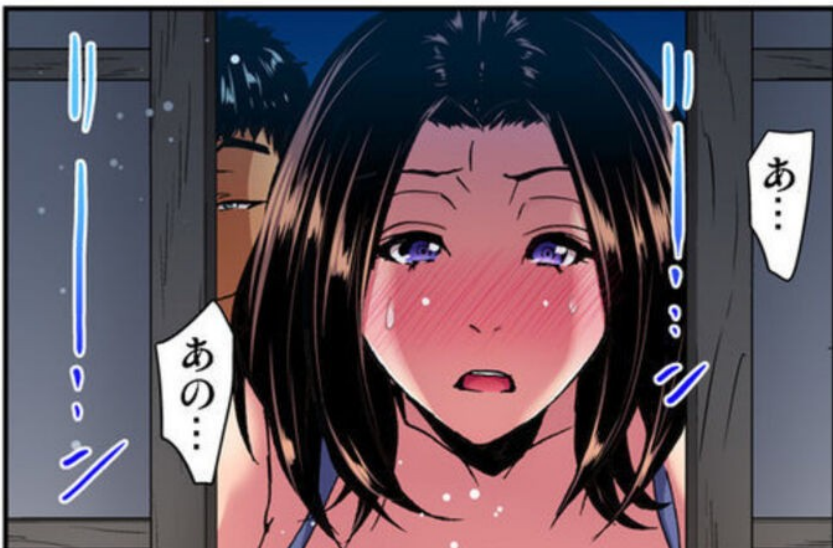
イツちやう...
びく...

夫じゃない
男性に...

あ...

イヤ...

イカされる
なんて...



あの...

あ...



何してるの？

優ちゃん...？

ゴロ...

この作品はフィクションです。
実在の人物・団体・事件とは一切関係ありません。
本作品の無断転載・複製を禁止します。



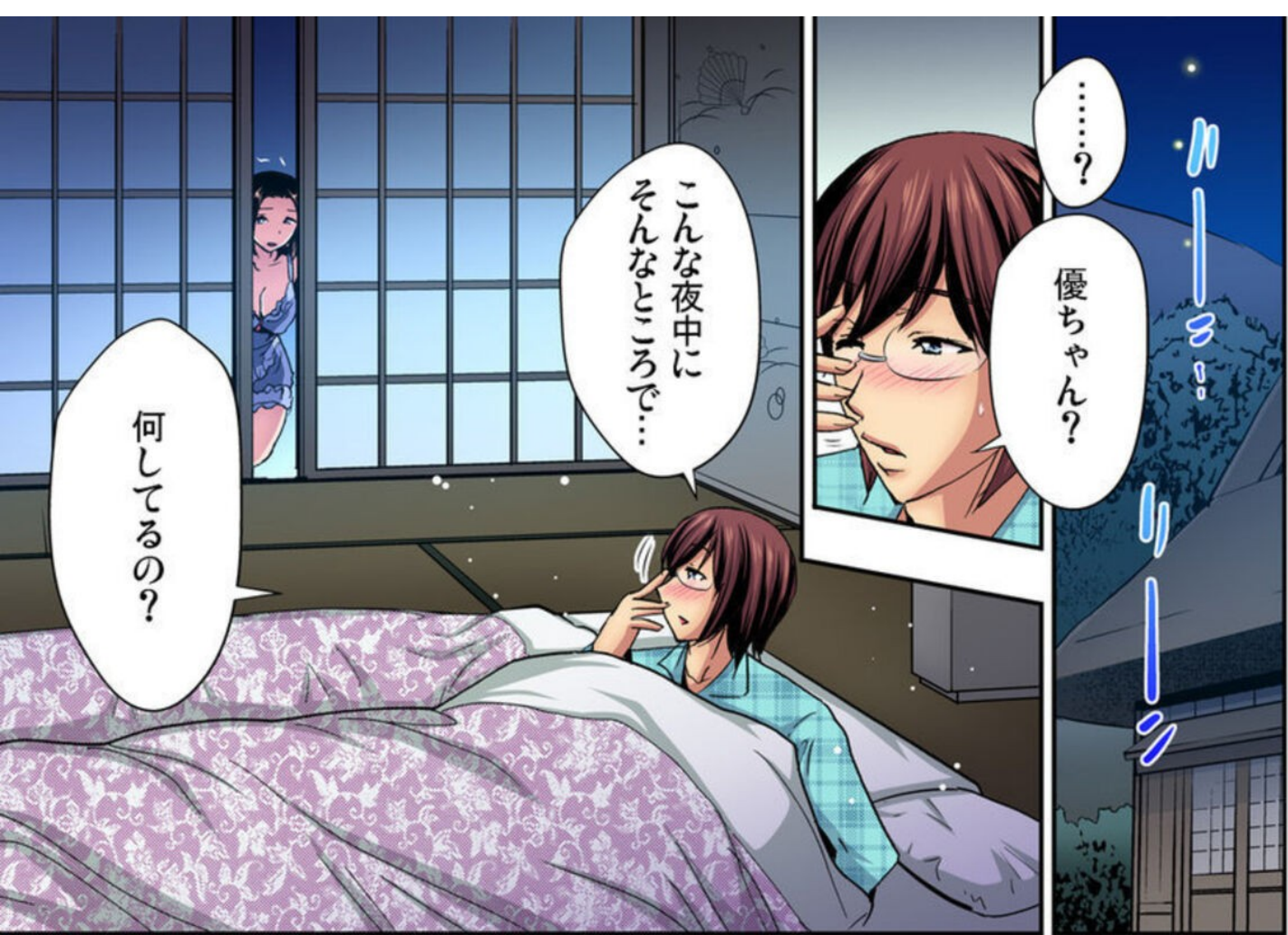
寝取り
無法地帯

林間郷

りんかんきょう

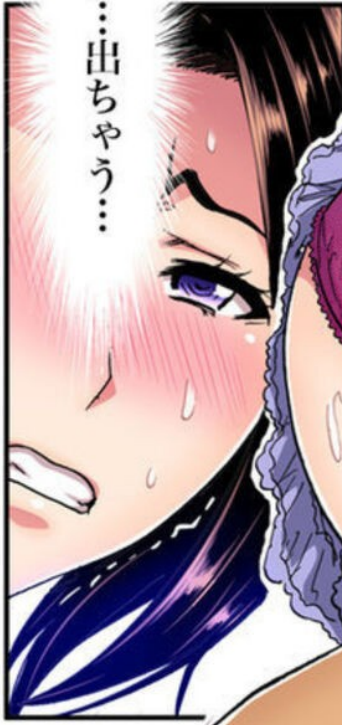
2

葵抄





声が…出ちゃう…



動かしちゃダメ…

お願い…

…

…



ヤメ…て…

お願い…

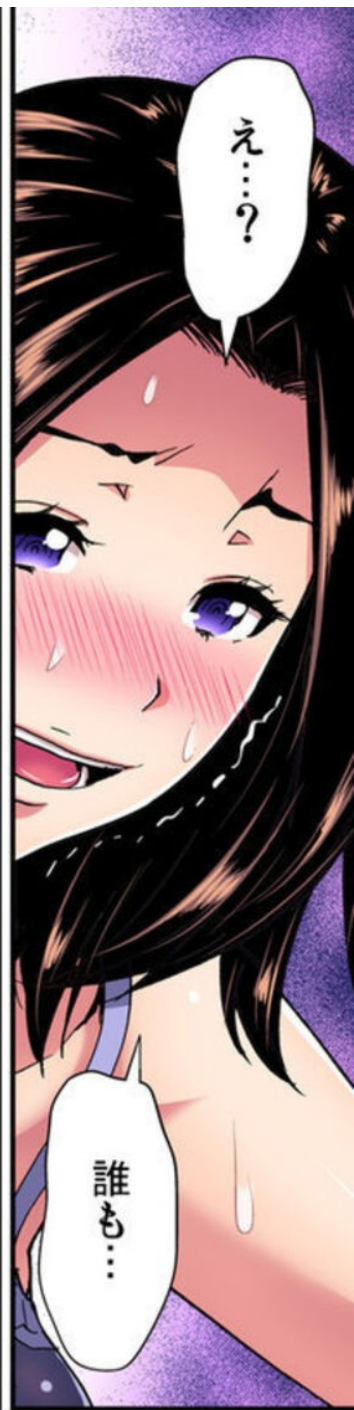
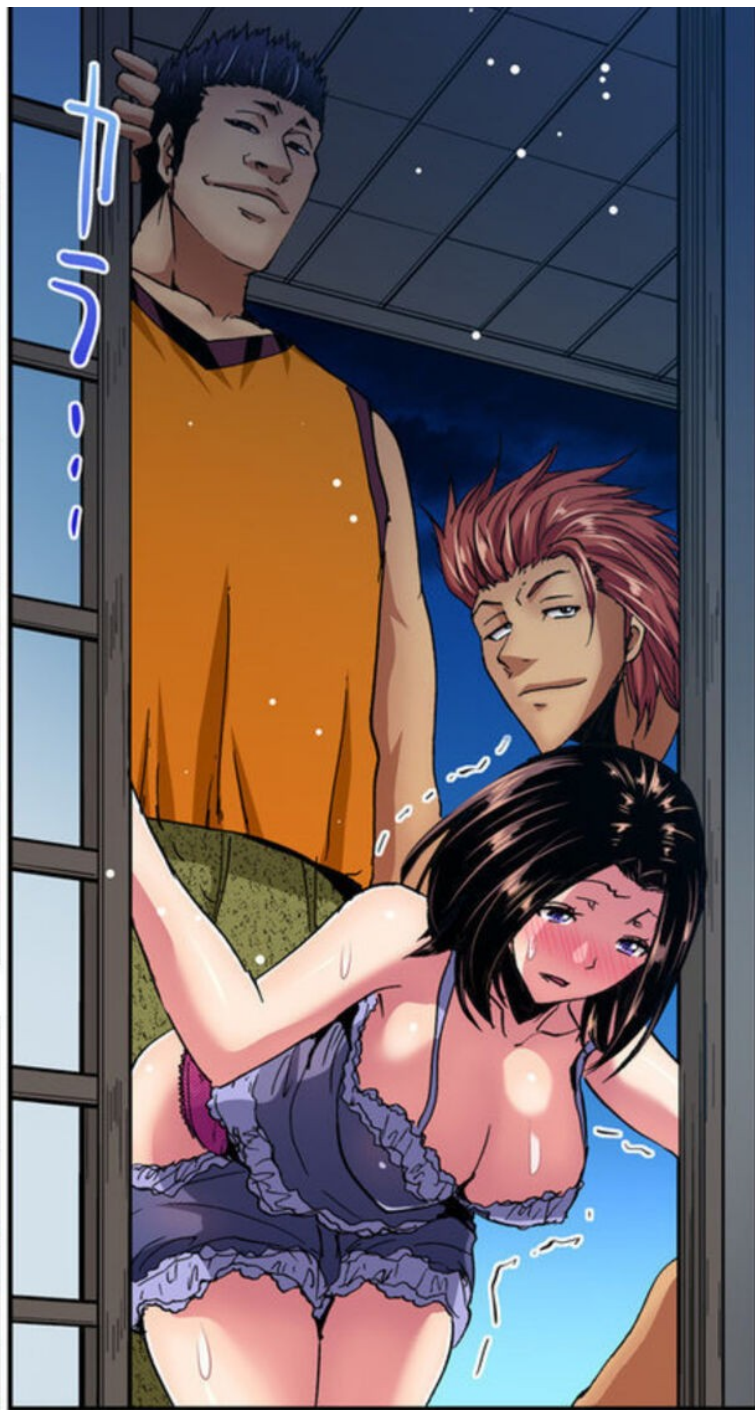
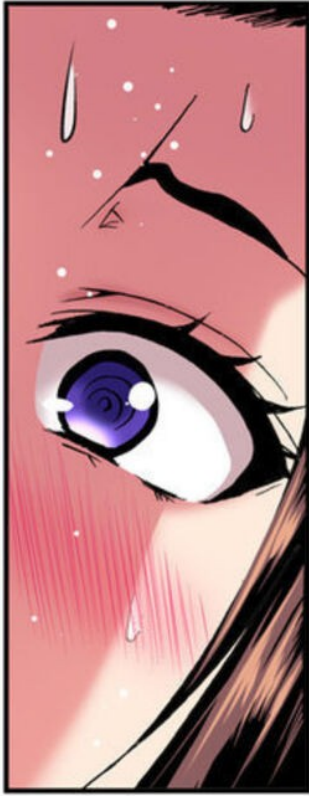


夫に…

…気づかれちゃう



ダメ…



え...?

誰も...

え?

村の...

ひ...昼間は
どうも...

どうしたん
ですか?
こんな
真夜中に?

屋間に
言い忘れてた
んすけどー

お二人さんの
歓迎会を
やりたいと
思っているんす



そ…それを
言うために…

わざわざ
こんな時間に…?



ほくらみろ
こんな真夜中に訪問なんて
都会じゃ非常識って
言ったらろ?

すみません
田舎じゃ普通に



こんなド田舎に
移住を決めてくれた
んですから

お近づきの印
ってわけじゃ
ないんすけど…

この辺りの連中と
村の集会所で
パァッと飲みてえなあ
…って





嬉しくって是非とも
歓迎会に来てもらいたくて
すんません…
こんな時間に…



この辺りで
若いのは俺らくらいな
もんで…

お二人が
この村に
来てくれたから

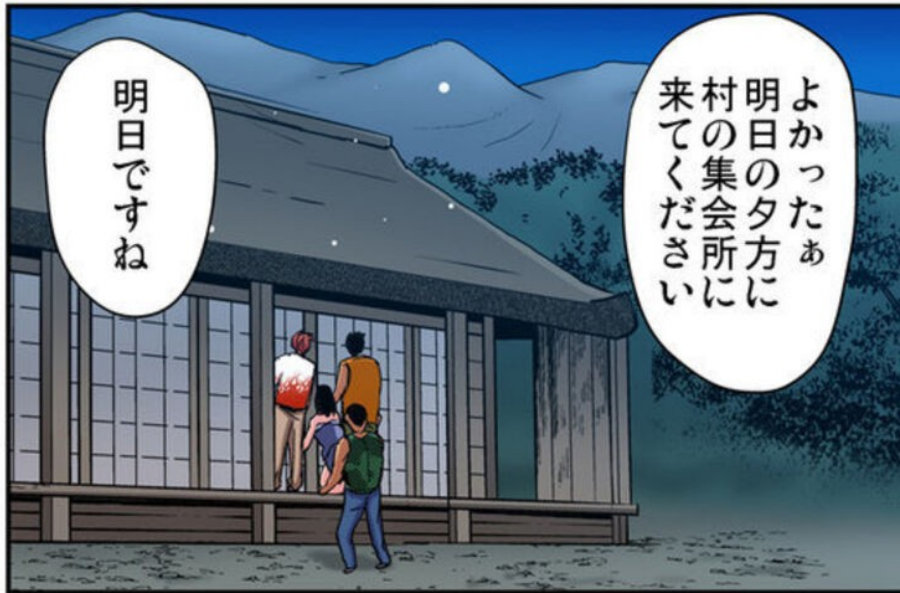


そういう事
なら…

はい喜んで



うん…



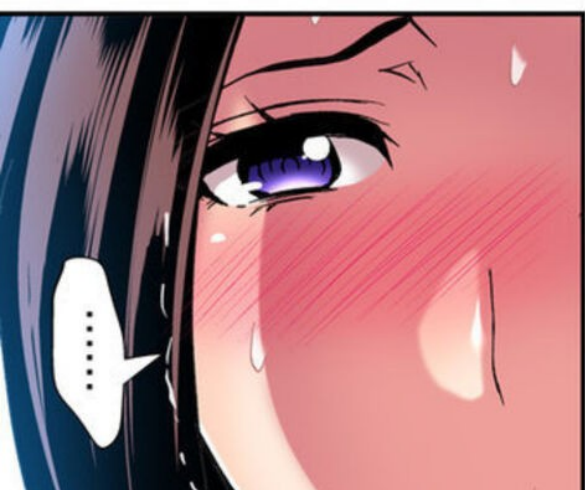
よかったあ
明日の夕方に
村の集会所に
来てください

明日ですね



優ちゃんも

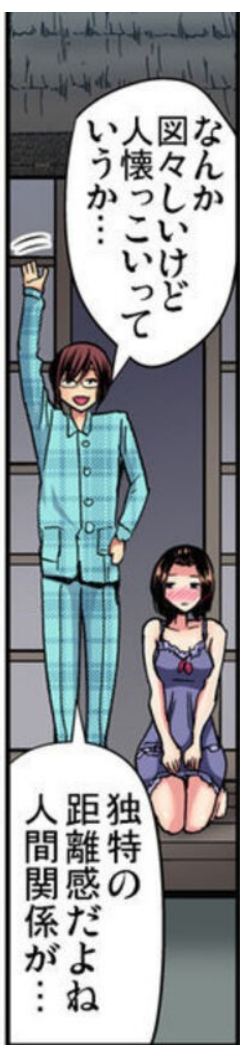
大丈夫だね？





見た目も
ヤンチャそうな
コワモテだけど…

みんな根は結構
良い人たちだよ

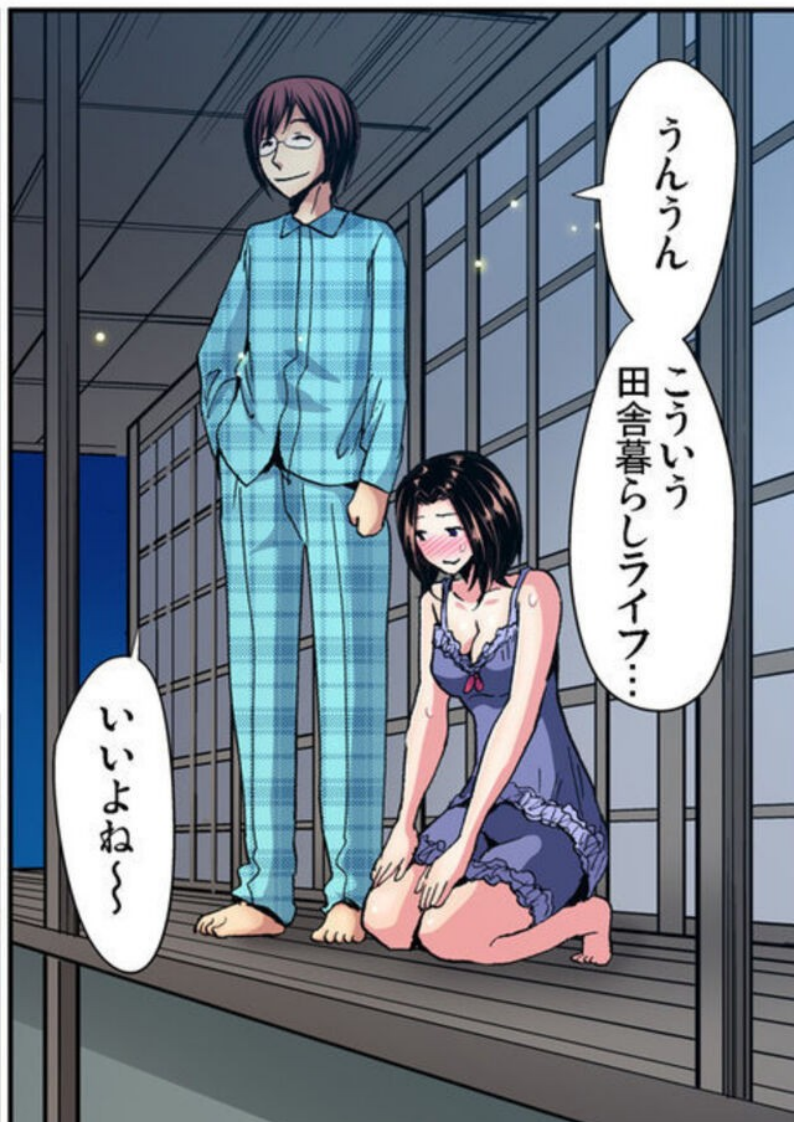


なんか
図々しいけど
人懐っこいって
いうか…

独特の
距離感だよ
人間関係が…



あなたという人は…
純粹っていうか…
鈍感っていうか…



うんうん

こういう
田舎暮らしライフ…

いいよね〜



結婚する時も
そうだった：

専業主婦は嫌だから
仕事を続けるよって
言っていたのに――



まったく
気づかないの？

だから私の気持ちも
わかってくれないのね



私にだって
仕事があったのに……

派遣から
ようやく正社員になれて

これからキャリアアップ
を目指して
バリバリ働こうと
思っていたのに……



なのに……自分勝手に
この村の移住を
決めちゃってさ……

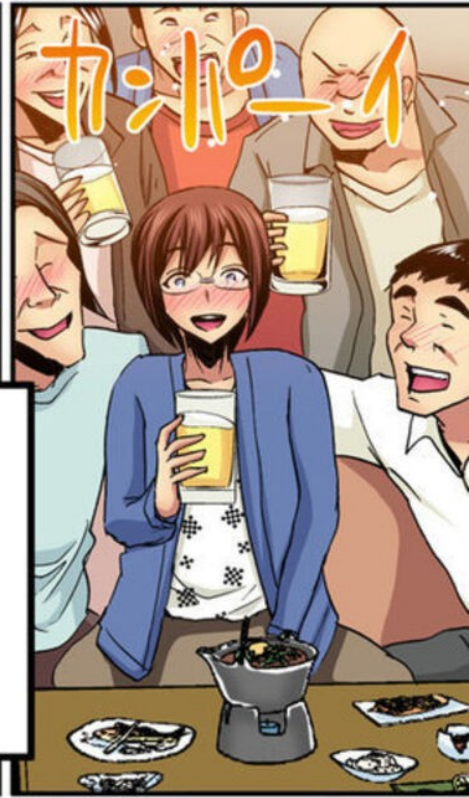
僕の仕事の効率化には
田舎暮らしが適している
……だなんて



そんなに
のんきに…



あなたは
なんで…



なのに…



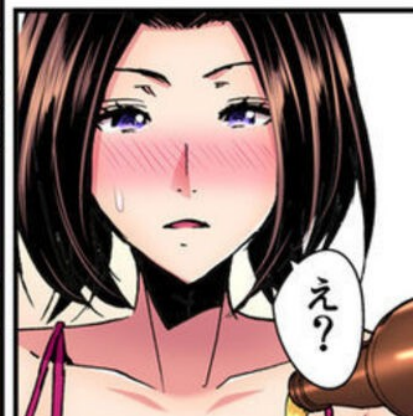
あ…いえ…
まだ予定は
なくて…

子どもじゃよ
何人くらい
産むつもり
かいね？

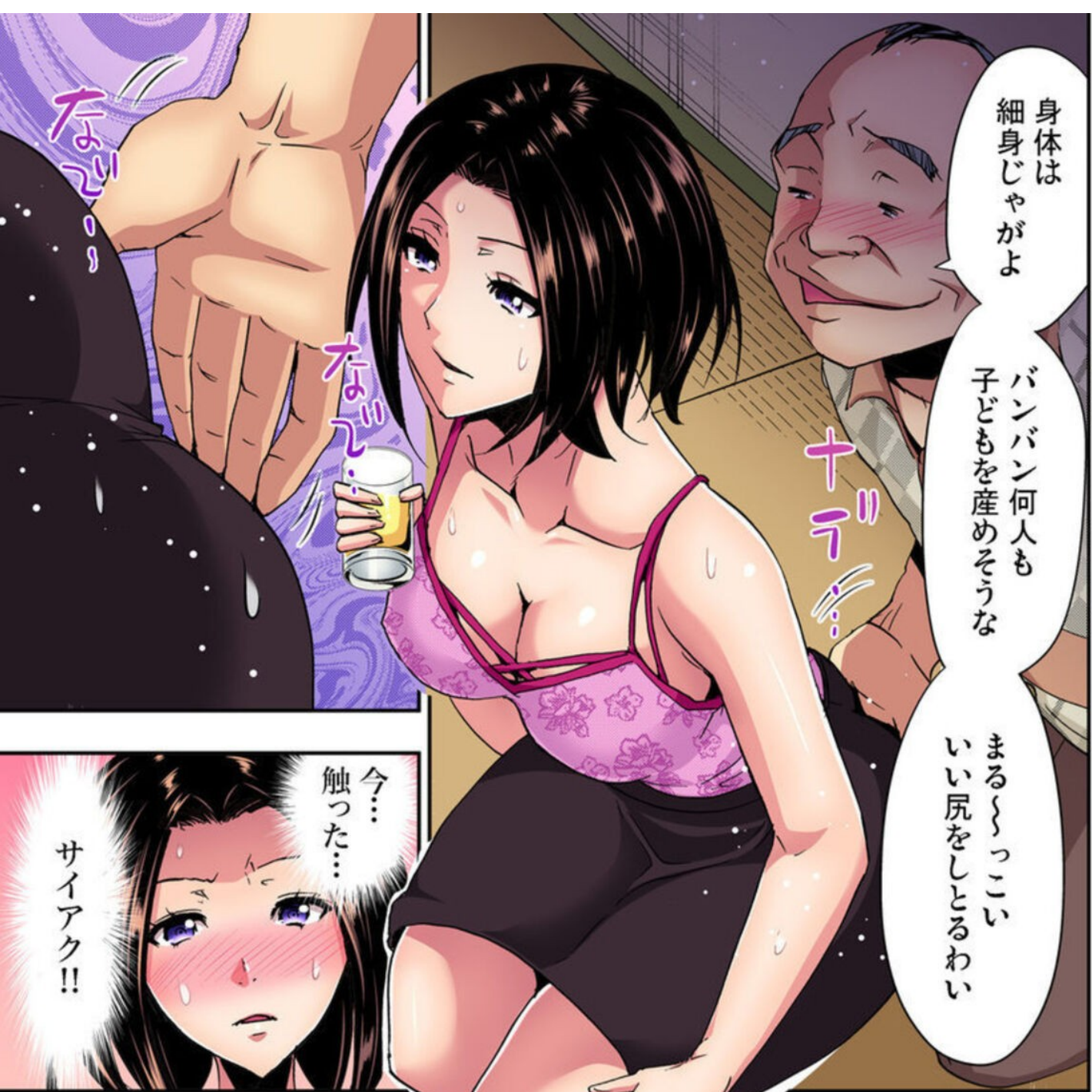
へえ
そうかいそうかい…



奥さん…
何人くらい
じゃね？



え？



身体は
細身じゃがよ

バンバン何人も
子どもを産めそうな

まるくっつい
いい尻をしとるわい

なよい

十ッテ

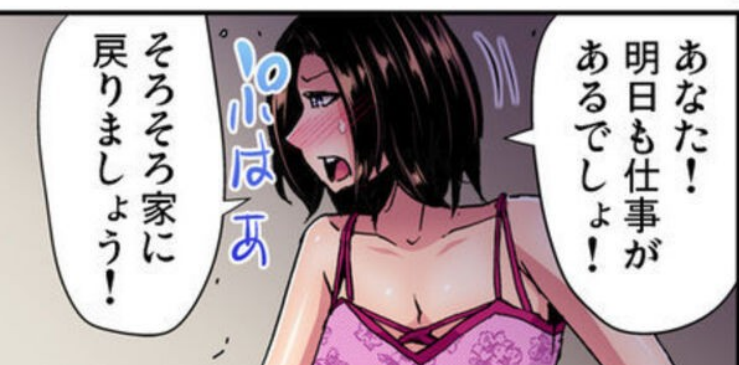


今...
触った...

サイアク!!



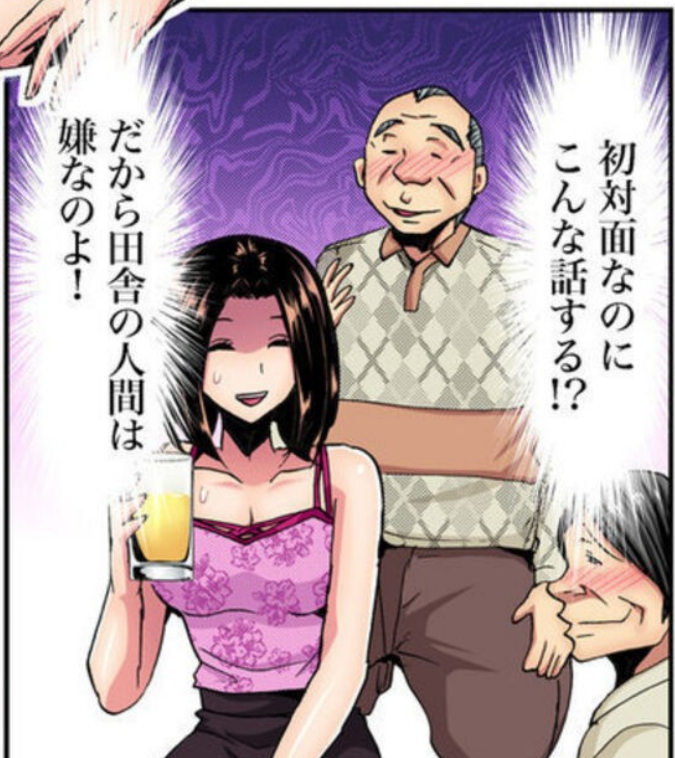
くっ
びい



あなた!
明日も仕事
があるでしょ!

そろそろ家に
戻りましょう!

おはあ



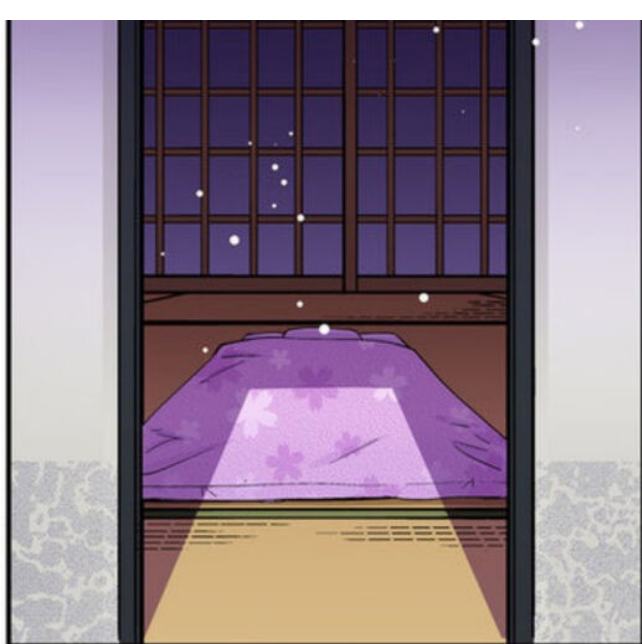
初対面なのに
こんな話する!?

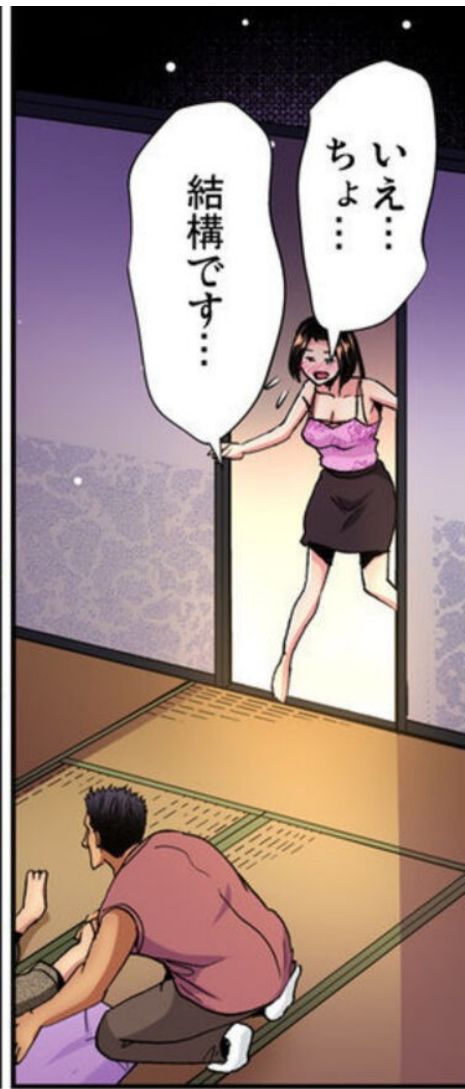
だから田舎の人間は
嫌なのよ!



ちよ...





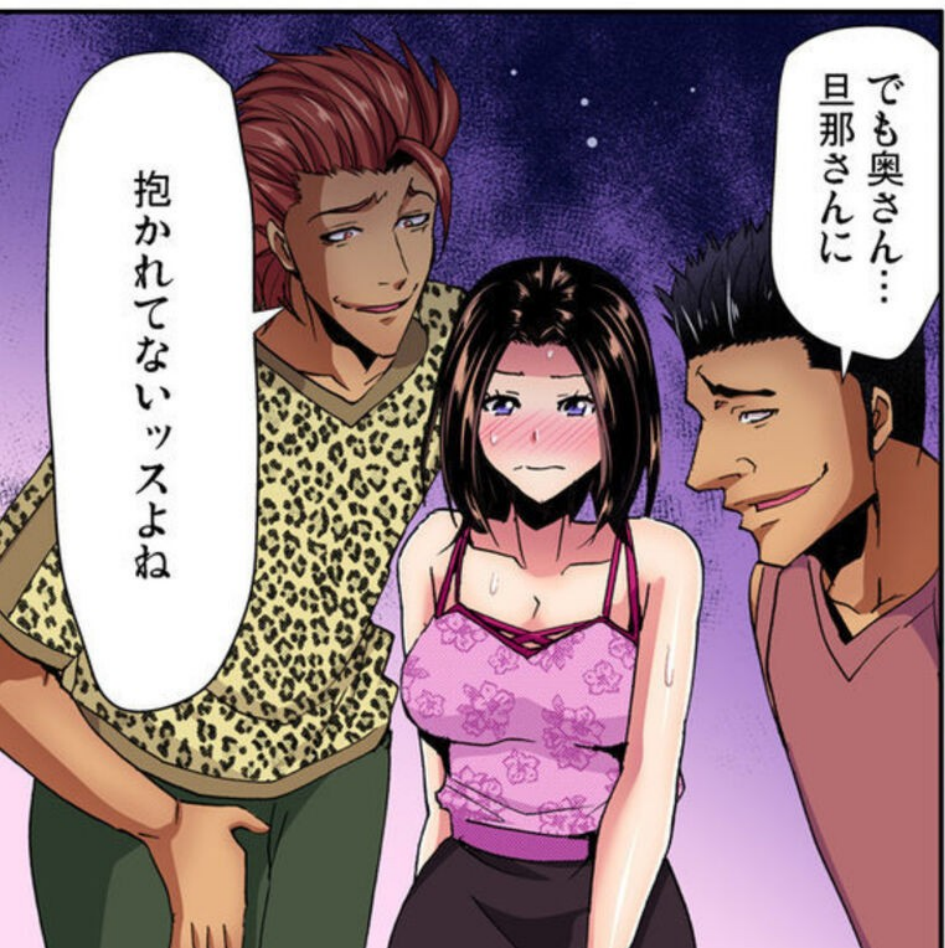




昨日の夜の続き

ここでしませんか？

びくびく
ぬちゃ
ぬちゃ



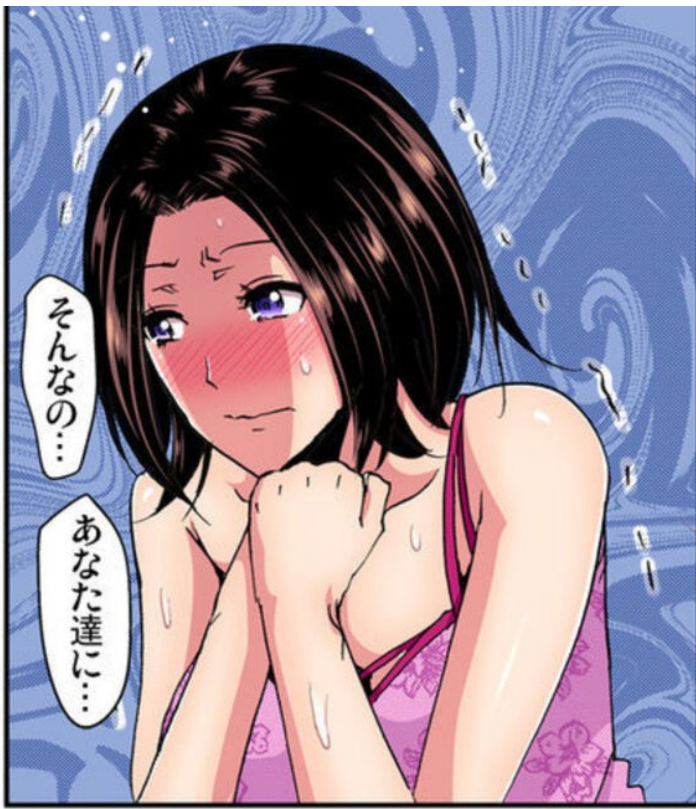
抱かれてないッスよね

でも奥さん…
旦那さんに



そ…そういう発言
……

このご時世
完全アウトだと
思いますよ



そんなの…

あなた達…



だから夜中に

外に聞こえちゃうくらい
声出してオ●ニーしてるん
スよね？



…ないじゃない

なんの…
関係も…



奥さん…

キョウ…

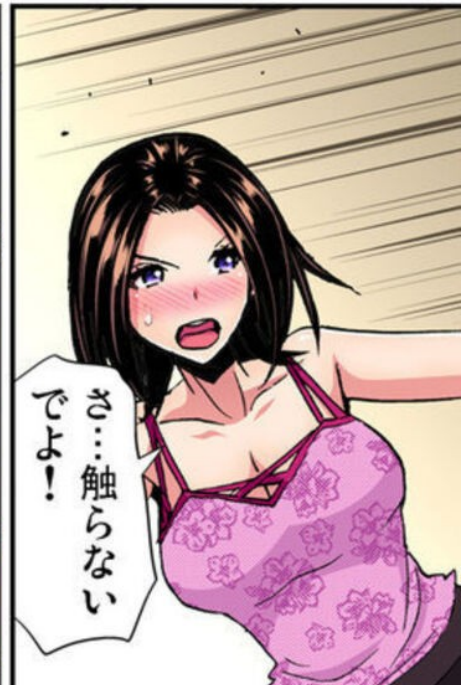


ゴウ

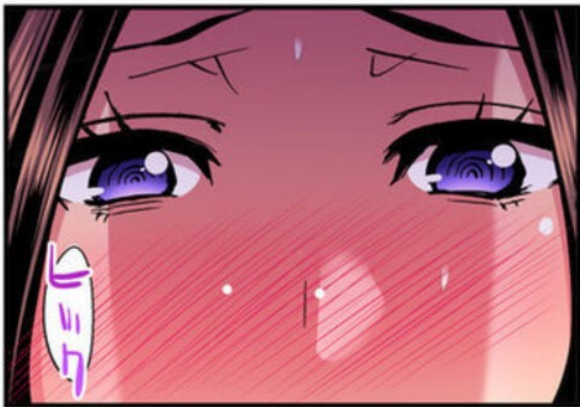
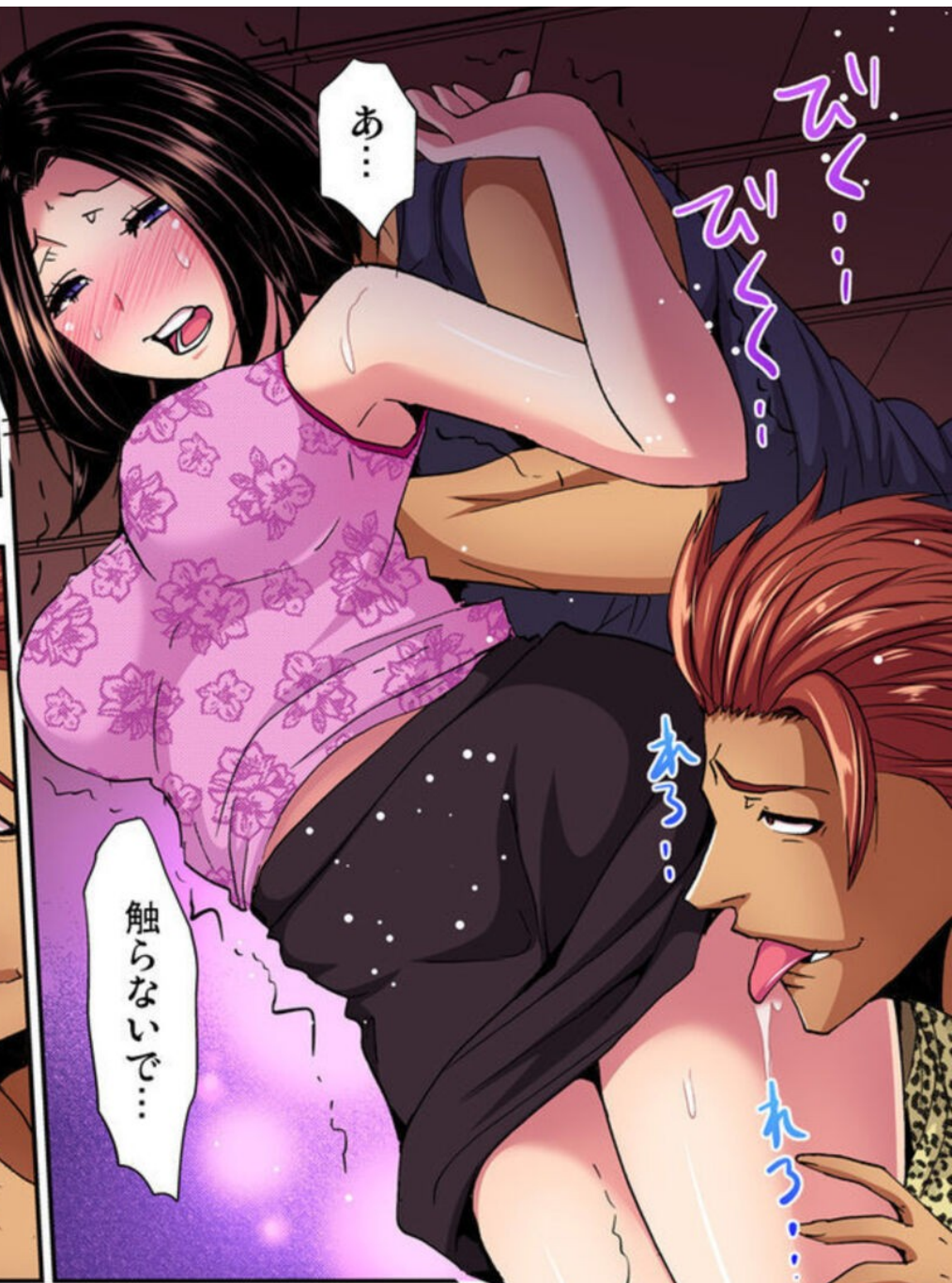
なっ!…



スト



さ…触らない
でよー!





もう…
ガマン
できねーッス

えっ!?

はっはっはっ

はっはっはっ

はっはっ

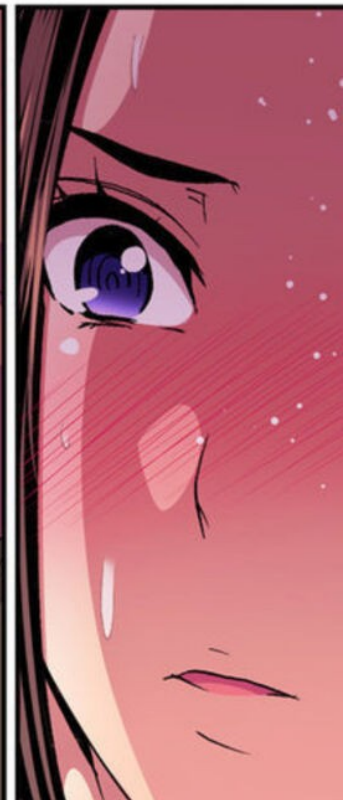
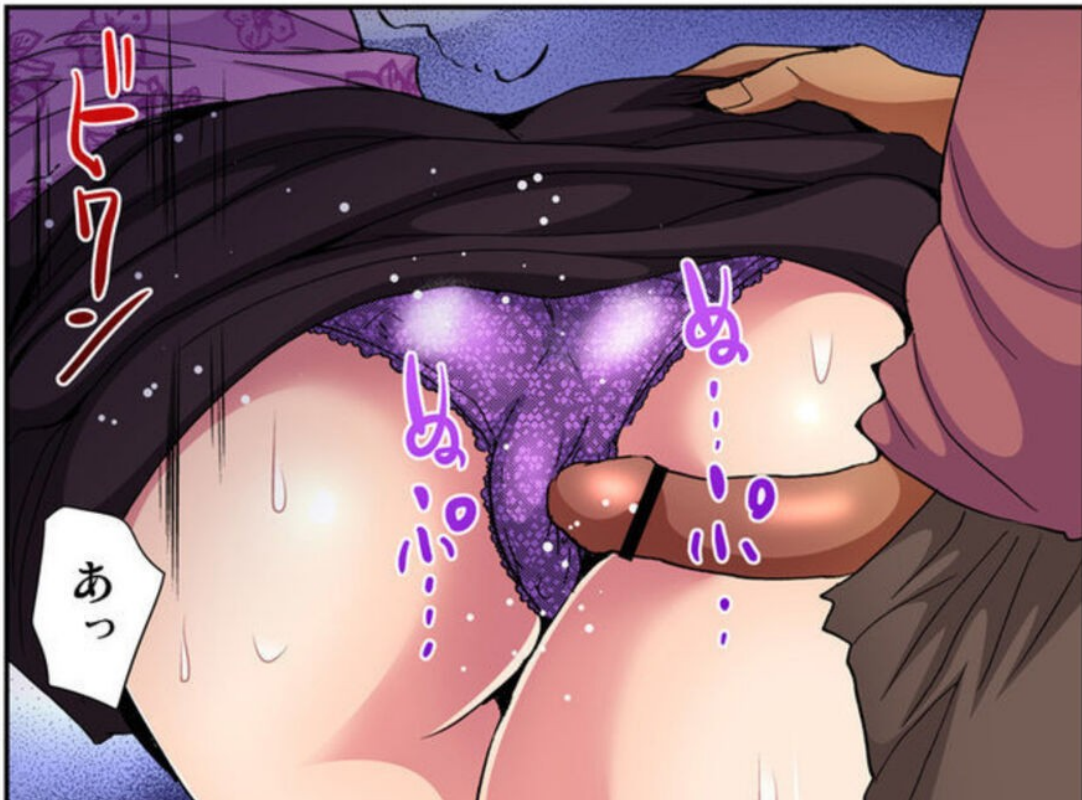
挿れていいッスか?

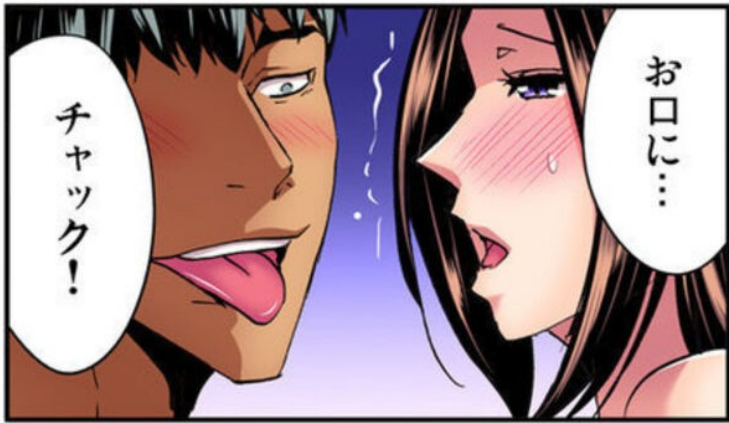


な…何を
言ってるの?

夫がそこに
いるのよ?

はっはっ







自分を…

止められなくなる！

私…

もう…



これ以上…
続けたら…

んん…

ん…



ん

ああ



やめて



はあ…

あ…

はあ…

あ…

もう
ムリ…

この作品はフィクションです。
実在の人物・団体・事件とは一切関係ありません。
本作品の無断転載・複製を禁止します。